



情報コミュニケーション学部

SCHOOL OF INFORMATION AND COMMUNICATION

「個」を強くする大学。

MEIJI
UNIVERSITY
2026

“Diversity” makes the world go round.



情報コミュニケーション学部長
阿部 力也 (あべりきや)

1991年中央大学法学部法律学科卒業。
1995年明治大学大学院法学研究科公法学
専攻博士後期課程単位取得退学後、明
治大学法学部専任助手。1998年同大学短期
大学(当時)専任講師、2005年同大学情報
コミュニケーション学部専任助教授、2008
年同大学法科大学院法務研究科専任准教
授、2011年同大学法科大学院法務研究科
専任教授。2019年明治大学情報コミュニ
ケーション学部専任教授(法務研究科兼籍)、
2020年兼籍解消、現在に至る。著書に『共
同正犯の構造』、『刑法総論講義案』など多
数。博士(法学)。

学部長メッセージ

主体性を持って学び、自らの「問い」を発見・解決する4年間

情報コミュニケーション学部における教育と研究を支えるのは、「社会の現在(いま)を捉える」、「多様で学域横断的なアプローチ」、「創造と表現」という3つの大きな柱。学際性と多様性を重視するのが本学部の特徴であり、学びの対象が複数の学問領域を横断するため、学生一人ひとりの興味・関心に基づいた学びが可能であるところが魅力です。カリキュラムもこの3つの柱に従って展開されています。多様な最先端の研究を紹介することから始まり、学びの基礎を固めつつ、段階的に学際的なアプローチの実践を可能とするようにカリキュラムが設計されているのです。主体的に問いを発見し、一定の解決を得るために履修科目をカスタマイズすることと、課題解決のために全学年に設置されたゼミナール科目を有効に活用することで成り立つ、重層的な「学びの場」の提供が本学部のカリキュラムの最大の特徴と言えるでしょう。

私の研究領域は刑事法学。特に刑法の解釈を専門としています。理解を深めるうえでは、法律学に隣接する諸科学の成果を借りながら、いくつもの問いを立てることが必要です。このように1つの専門的なテーマを考える過程のなかでさえ、多角的なものを見方が求められます。国際紛争、環境問題、食糧問題、様々な格差への対応、凶悪犯罪の発生など、現代社会に生起するあらゆる事象が単一原因によるものではないのは当然です。事象が複雑であればあるほど、1つの学問領域からだけでは、問題を分析し、一定の解決を得ることは不可能であ

るといい良いでしょう。だからこそ「社会の現在(いま)を捉える」ことを掲げている情報コミュニケーション学部で学んだ学際性・学域横断的な思考の枠組み、あるいは方法論に従ったアプローチが現代の諸課題の解決に寄与すると私は考えます。

しかし、学際的な学びを目指し、実践することは容易ではありません。学際的に学ぶとは単に隣接・類似しているように見える複数の科目を履修することではないのです。我々が講義・ゼミナールで提供したあらゆる基礎論から、それぞれの学生が自らの問いのもと、重複すると考えられる問題領域を見出す知的な営み・実践こそが、情報コミュニケーション学部が標榜する学際性なのです。皆さん自身の学びの深度に応じて、問題領域は狭いものにとどまるかもしれませんし、無限に広がるかもしれません。だからこそ「学びにおける主体性」を自覚していただきたいと強く念願しています。そして皆さんの主体的な学びを支えるため、本学部ではアクティブ・ラーニング、アクティブ・タームの実質化を推進。既存の「世界のキャンパスから」を含めた、海外の研究者と連携した教育プログラム・学生交流プログラムの拡充も図ってまいります。

ぜひ情報コミュニケーション学部で多種多様な学びから、自らの「問い」を発見してください。問いの解決を目指して主体的に学ぶ4年間で得た糧は、きっと社会に出るから活躍する素養を育むことにつながるはずですよ。

動画と記事で学部を知る
「Step into Meiji University」も
ぜひご覧ください



CONTENTS

学部長メッセージ	01
情報コミュニケーション学部概要	03
情報コミュニケーション学部の特色	
～個を育てる情報コミュニケーション学部の学び～	
①自分自身で「問い」を立て、多角的な視点からアプローチする楽しさを学ぶ	05

②大きな課題に対して、できることを考え、実践し、SDGsに貢献する	07
③教員と学生による座談会	
多種多様な学問分野が相互につながりあうことで「自分らしさ」が見つかる学びの場	09
カリキュラムの特長	11
自らカリキュラムをカスタマイズし、問題を発見・解決する4年間	

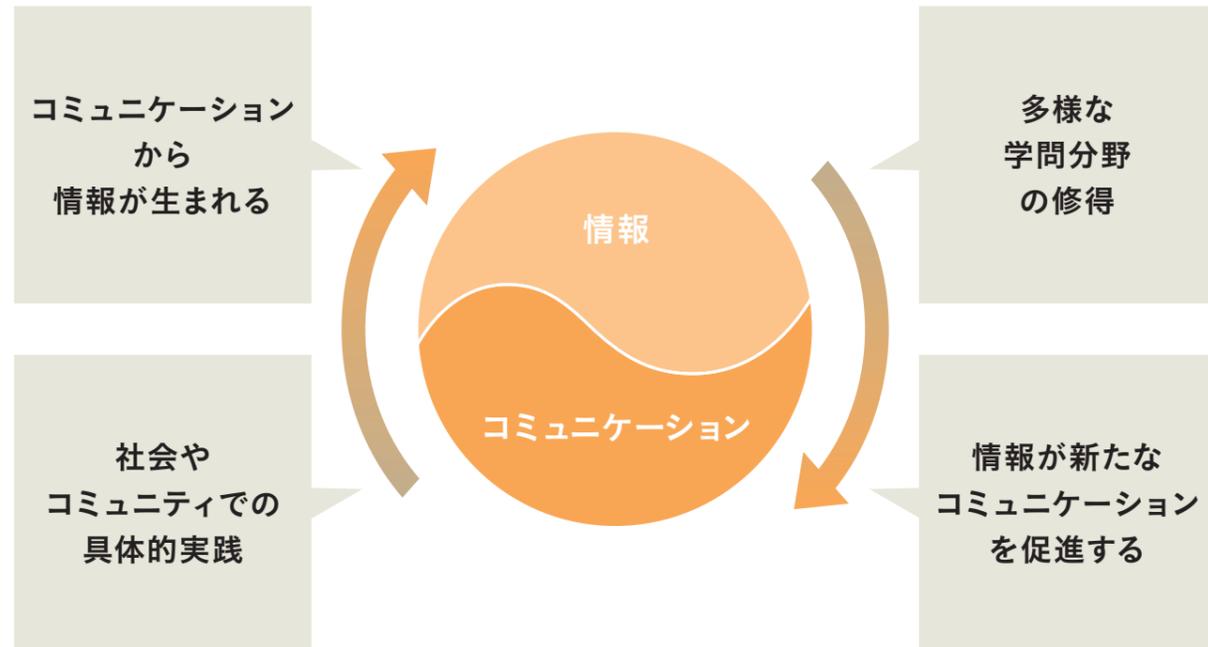
■ 1・2年次：多様な研究の最先端を知り、問題を発見する	13
■ 3・4年次：問題を分析し、解決する	15
ゼミナール教育	17
基礎教育・専門科目	19
国際交流	21
教員紹介	23
就職実績 資格取得	25

情報コミュニケーション学部生の1日	26
卒業生からのメッセージ	27
ジェンダーセンターの活動	29
入試情報	29

※登場する学生の在籍年次や卒業生の肩書等は2024年度のもので、2024年以前撮影の写真も掲載しています。

動き出せ、イマ — 貫く多様性 広がる可能性 —

情報コミュニケーション学部を表象するこのキャッチコピーは、本学部卒業生が創作したもので、「情コミは、学問はもちろん、性・言語・宗教等すべてにおいて開かれた環境」であるという思いがコンセプトになっています。



▶ 情報コミュニケーション学部の3つの柱

1 社会の〈現在〉を捉える

iPhoneやAndroidに代表されるスマートフォンの普及。さらにXやFacebookなどのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の爆発的普及とTV離れ現象。現代社会はネットワーク技術に支えられながら高度情報社会の段階に突入しました。一方、こうした社会の情報化がネット上での様々な犯罪や情報セキュリティの問題を引き起こしたり、政治や経済のあり方に大きな変化をおよぼしてもいます。本学部はこうした情報社会の生きた現実と向き合い、問題を探るカリキュラムを用意しています。

※iPhoneは、Apple Inc.の商標です。 ※AndroidおよびAndroidロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。
 ※XおよびXロゴは、アメリカ合衆国または他の国々におけるX Corp.の登録商標です。
 ※FacebookおよびFacebookロゴは、Meta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。

2 多様で学域横断的なアプローチ

高度情報社会の問題は、複雑で多岐にわたります。従って、様々な分野の知が協働して問題に取り組まなければなりません。情報コミュニケーション学部では、社会科学を軸にしながら、人文科学や自然科学を取り込んだ学域横断的 (interdisciplinary) な視点から、また皆さんの主体的な取り組みを最大限尊重するようにカリキュラムが設計されています。

「情報コミュニケーション」って

「情報」は、マスメディアや書籍、スマートフォンやパソコンなどを介してアクセスし取得する静的なもの、他方「コミュニケーション」は、人と人との言葉やジェスチャーを通じた動的な交流です。情報がコミュニケーションを促し、そしてコミュニケーションが新たな情報を生み出すわけです。「情報」と「コミュニケーション」は切り離すことができない、一体化したプロセスだとわたしたちは考えています。

学部プロモーションムービー

一人ひとりが興味を持った分野を深められ、その先で出会う好奇心、領域を越えた学びへの意欲に応える環境がここにある。そこには、学生本人が主体的に動き、これからの時代に、自分で人生を切り開く力をつけてほしいというわたしたちの願いが込められています。本学部では、その魅力を、約2分間のプロモーションムービーとして公開しています。



アクティブ・ラーニング

短時間で集中的に学ぶクォーター授業(*)や、オンデマンド型で実施するメディア授業、フィールドワーク、ワークショップ、学外研修など、学生による主体的な活動を支援する科目を設置しています。

*通常授業より短い期間で学ぶことで、修得度向上や、空いた時間を留学等他の活動に活用することを目的としています。

3 創造と表現 (Creation & Expression)

情報コミュニケーション学部では、既存の伝統的な知の蓄積を尊重することと並んで、皆さんが自ら何かを創造し、そして、何らかのメディアを使ってそれを表現することを支援します。論文や文芸などの言語表現、アニメーションを含む映像表現、ダンスやパフォーマンスなどの身体表現、ミュージッククリップやライブといった音楽表現など表現の手段は問いません。カリキュラムでもこうした実践をワークショップのかたちで拡充中です。



明治大学 情報コミュニケーション学部 の強み

高度情報社会で
活躍する
創造的な人材を育成

Point 1 「学域横断」を実現する 多彩な教養・研究科目群

社会科学を中心に人文科学、自然科学の諸分野におよぶ多彩な科目が履修可能です。ワークショップ形式の授業やクリエイティブ科目も充実しています。

▶ 詳細はP.11～12

Point 2 問題・課題によってカスタマイズ できる柔軟なカリキュラム

多岐にわたる科目群から、皆さんが立てた問題や課題に沿って科目を選択・履修できる自由度の高いカリキュラム制度を採用しています。

▶ 詳細はP.13～16

Point 3 ミッション遂行型現地留学

単なる語学研修を超えたミッション（課題）遂行型の国際交流プログラムを用意しています。

▶ 詳細はP.21～22

個を育てる情報コミュニケーション学部の学び①

Seminar Report

自分自身で「問い」を立て、 多角的な視点から アプローチする楽しさを学ぶ

思考力が鍛えられる
“情コミ”のゼミ授業

大学での勉強は講義を聞くだけではありません。自ら課題を見つけ、どのような過程や方法で解決するかという思考力が問われます。本学部では、1年次からゼミナール形式の授業を設け、その力を養います。

自分で発見した現代社会の課題を
あらゆる方向から見つめ直す

自ら「問い」を発見し、多角的な視点からアプローチを試みつつ、積み重ねた知識を再構成して結論を導き出すというノウハウは、大学で時間をかけるからこそ培うことのできるものです。情報コミュニケーション学部では、基礎を養う時期である1年次からゼミナール形式の授業が用意されており、4年間で基礎・問題発見・問題分析・問題解決と段階的に学ぶことができるようになっています。▶P.17

根橋ゼミの研究テーマは多文化共生・異文化間コミュニケーション。近年、経済活動に伴う人の流れは国境を越え、ますますダイナミックになっています。自国を離れて働く人々と元々その土地に住む人々がともに生活する中、心の壁を取り払い、より豊かな多文化共生社会を構築するために何をすべきか。その答えを様々な活動を通じて、多様な視点で探っていきます。活動内容は外国人

集住地でのフィールドワークや、ヒューマンライブラリーの開催、米国の大学のコミュニケーション学部の学生とのオンライン交流等。学内にとどまらず、アクティブに外ともつながる活動を通じて学びが深められています。

大学へ入学するまで、多くのみなさんが暮らしてきたのは、同年代・同地域の人々に囲まれた、同質性の高い環境です。一方大学は、様々な地域から来る友人や、他学年の先輩・後輩、他の国から来日した留学生たちと交流できる場。物の見方や考え方の異なる人々と出会える環境です。中でも、ゼミでは自分と異なる考えや意見を交わせます。異文化間コミュニケーションや多文化共生と聞くと、多文化を知る・理解することをイメージしがちですが、「自文化を知る・尊重する→相手文化を知る・尊重する→相手文化に自文化を知ってもらう」というプロセスが重要。この考えのもと、実施されている根橋ゼミでは、単に相手を理解しようとするだけでなく、自分を知り、自分を知ってもらえるように発信する、そんなコミュニケーション力を養います。



MESSAGE **根橋 玲子 教授**

コロナ以前の私たちの社会は、経済活動に伴う活発な人の流れが当たり前のようにあり、その流れは国境を軽々と越えたと信じていました。コロナや様々な地域で発生している紛争は、図らずも私たちの社会が、このような流れを簡単に止められること、そしてミクロ・マクロの視点で容易に分断されることを露呈しました。しかし同時に分断があってもなお、人々は国を越えてつながっていることも明らかにしたと思います。日々移りゆく社会のあり方を、本学部で様々な視点から見つめ、豊かな学びを手に入れてください。

PROFILE

米国ミシガン州立大学大学院卒業。Ph.D. (コミュニケーション学)。専門は異文化間コミュニケーション・多文化共生。立教大学・東海大学を経て2004年より明治大学情報コミュニケーション学部准教授、2013年同教授。文化背景の異なる人々がともに働き・暮らす社会に関心を持ち研究・教育活動に従事。



左、右)ゼミでは、対話を重視しています。ゼミ生同士、他大学の学生やゲストスピーカー、フィールドワークやヒューマンライブラリーなどの活動では学外の人々ともつながります。中央)ヒューマンライブラリーは、多様な背景を持つ人々を「本」に見立て、少人数で対話することにより、「読者」として「本を読む」イベントです。

STUDENT VOICE

様々な価値観に寄り添うことが
他者を思う想像力につながる

4年
内田 日奈子

神奈川県
私立捜真女学校高等学校
卒業



根橋ゼミでは、新大久保へのフィールドワークや、インターナショナルスクールの生徒・留学生との交流など、自分とは異なるバックグラウンドを持つ人々とかかわれる機会が多々あります。固定観念を捨て、様々な人の価値観や人生観に寄り添い、社会では多様な人々が支え合いながら生きていくことを実感しました。この経験を通じて磨かれた他者を思いやる想像力は、授業

やサークル、アルバイト先などチームワークが求められる場面で役立っています。特に大切にしているのは言葉選びです。無意識に自分の価値観を押し付けまいと心掛けています。今後、社会に出ると更に様々な人と接する機会が増えるはず。その際にも常に想像力を働かせ、相手への配慮を忘れず、すべての人にとって安心してかかわれる存在になりたいです。

PICK UP

注目授業

情報コミュニケーション学部の
メディアリテラシー講座「映像表現論」

テレビ番組制作を通じてメディアリテラシーを実践的に身につける「映像表現論」では、撮影方法や取材の段取りを学んだあと、学生たち自ら取材の交渉やインタビュー、撮影を行いVTRを制作します。2024年度は、実際にテレビ局のスタジオでプロのスタッフの指導のもと、撮影機材などを使って番組を収録。学生たちはキャスターとして出演するだけでなく、番組やスタジオの進行を指示するディレクター、カメラ操作など役割分担し、番組を完成させていきました。



受け手の思いを「想像」して
映像を「創造」する
映像表現の基本を学びました

4年
吉見 友里絵

千葉県立
千葉高等学校卒業



私は、まさにこの「映像表現論」を受講するために、情報コミュニケーション学部を選びました。オープンキャンパスで手に取った本学のガイドブックで知り、強く惹かれたのがきっかけです。実際に受けた講義では、「想像(創造)力」の重要性を学びました。VTRや番組を制作するうえで大事なものは、カメラや画面の向こう側にいる視聴者を「想像」して、映像を「創造」し

ていくこと。視聴者が抱くであろう疑問や関心を予め想像したうえで取材に臨むことで、視聴者を置き去りにしない番組が完成するのだと感じました。受け手の反応を想像し、相手が受け取りやすい工夫をする力は、接客業をはじめとしたあらゆる仕事で幅広く活かすことができます。来春からは就職先で、授業で培った想像力を発揮できるように頑張ります。

個を育てる情報コミュニケーション学部の学び②

Creation & Expression

大きな課題に対して、 できることを考え、実践し、 SDGsに貢献する

神保町 コーヒープロジェクト

社会課題を解決するため、学生たちにできることは何があるでしょう。島田ゼミでは、独自のコーヒー文化を持つ神保町の魅力の発見・発信を通じて、「街づくり」と「SDGs」に取り組んでいます。

コーヒー商品の開発を通じて、 途上国の貧困と街づくりに向き合う

社会にSDGsが浸透する中、島田ゼミが挑むのは「神保町コーヒープロジェクト」。2020年新型コロナウイルスですべてがオンラインになる中で、できることを模索しながら開始した、途上国のコーヒー生産者の生活改善と神保町の街づくりを目指す取り組みです。Think Globally, Act locallyの実践として、「途上国の貧困」と「街づくり」という2つの社会課題に取り組んでいる点がポイントです。神保町を対象にしているのは、この地域が古書街として有名でAmazonや電子書籍の台頭といった経済のデジタル化によって大きな影響を受ける可能性があるからです。また神保町は古くからある喫茶店と現代的なカフェを備える多様なコーヒーの楽しみ方を提供できる場所でもあります。

プロジェクトでは、学生たちは遠く感じられる世界のことと、目の前の社会課題の両面に向き合っています。議論を重ね、コーヒーと書店の相乗効果を考慮した新たな街づくりについて提案。

同時に、途上国のコーヒー生産者に寄り添ったコーヒー取引のあり方も調査し提案しています。神保町にゆかりのあるコーヒー会社の協力を得てコーヒーの商品開発を行い販売しています。昨年は売り上げ30万円を生産地に寄付しました。

これまで、商品開発の他に、フリーペーパーやSDGsコーヒーマップなど神保町とコーヒーの魅力を明治大生視点で発信するツールも制作。SDGsコーヒーマップでは、フェアなコーヒーを取り扱っている神保町のお店を紹介しました。また世界食料デーには食品ロスの削減を目的とし、閉店時間がせまるパン屋で売れ残りそうな商品を仕入れて販売しました。廃棄されていたかもしれないパンを美味しく食べてもらうことが、食品ロスについて考えるきっかけになることを願った取り組みです。

プロジェクトを通じて、学生たちに身につけてほしいのは社会課題を解決する力。国際社会や地域社会に対する視点を広げ、社会のために役立ててほしいと思います。



MESSAGE 島田 剛 教授

情報コミュニケーション学部の特徴は「課題解決型」であり「学際的」であることです。現場に近くなればなるほど、一つの学問だけでは問題を解決できません。途上国の医療は病院を作るだけでは解決しません。道や橋がなければ病院に行けず、そのためには資金も必要になります。医学など一つの学問だけではなく、多くの学問の専門知識を突き合わせて問題を解決する学際的な取り組みが必要になってきているのです。そうした学際的な学びを一緒にしましょう。

PROFILE

博士(学術、早稲田大学)。JICA(国際協力機構)、国際連合日本政府代表部一等書記官、静岡県立大学国際関係学部准教授、コロンビア大学客員研究員、世界銀行およびアジア開発銀行コンサルタントなどを経て2018年より明治大学情報コミュニケーション学部准教授、2023年同教授。

STUDENT VOICE

3年
高山 友里
東京都私立
東京都市大学等々力
高等学校卒業



あらゆる学びを活用して 課題解決につなげる

情報コミュニケーション学部は、幅広い分野を学習しながら自分の興味関心と向き合うことのできる、有意義な学びの環境です。特に島田ゼミでは、「開発経済学」を中心に、途上国の問題に焦点を当てたコーヒープロジェクトや街づくりに取り組んできました。これらのプロジェクトでは、幅広い分

野の学びをどのように生かして解決に繋げるかという点を、実践的に学ぶことができます。ゼミを通して、すべての学びは課題解決の一助になり得るという意識を持つようになりました。また、多様な情報を柔軟に活用しながら学際的に考える力を身につけられたと感じています。



商品開発した明治大学SDGsコーヒーを御茶ノ水ソラシティで販売



上)島田ゼミ生の集合写真
下)商品開発したコーヒー

PICK UP

注目授業

世界各国から研究者を招へいして行われる オムニバス講義「世界のキャンパスから」

この授業では、世界各地の様々な大学で最先端の研究を行っている新進気鋭の研究者を招き、オンライン形式を中心として、本学部の教員がコーディネーターとなって研究内容を分かりやすく紹介します。授業テーマは、メディア・音楽・ジェンダー・スポーツ・政治・ファッション等、分野を越えて多岐にわた

ります。この授業を受けることで、皆さんは世界の様々なキャンパスで、いったい何が問題として研究され、どのような授業が行われているのかを、日本にいながらにして知ることができます。興味を持った分野を本学部で極めるのも良いですし、授業で出会った研究者のもとへ留学を志すのも良いでしょう。



教員と学生による座談会

多種多様な学問分野が相互につながりあうことで「自分らしさ」が見つかる学びの場

多様な分野の学びが集う情報コミュニケーション学部。学生の自主性を尊重する自由度の高いカリキュラムも大きな特長となっています。その魅力・学びなどについて、学部長を始めとする教員と学生たちが語り合いました。



情報コミュニケーション学部の学びとは

阿部：本学部の教育と研究を支えるのは「社会の現在（いま）を捉える」、「多様で学域横断的なアプローチ」、「創造と表現」という3つの大きな柱。この3つの柱によって展開される情コミの学びは、複数の学問領域を横断するため、学生一人ひとりの興味・関心に基づき、学際的な思考の実践を目指します。

興味関心の赴くまま学び、やりたい自分に出会える場所

——皆さんが情コミを志望した理由と今学んでいることを教えてください。

坂本：入学前は自分の興味関心の対象が曖昧でした。情コミで幅広い分野を学びながら、やりたいことを明確にしたいと思い、進学を決意。現在は、田中先生のゼミで「ジェンダーとメディア論」を主なテーマとして学んでいます。

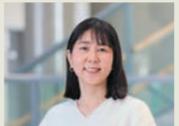
松倉：地方出身のため、地方と都会の間にある様々な格差の原

因を明らかにしたいと考えていました。政治経済学や経営学の視点からもアプローチできるのですが、より多角的に物事を捉える力を身につけたいという思いから、情コミを志望しました。現在はゼミで地方創生について学んでおり、新潟県の南魚沼市、佐渡市、津南町の方々とともに、地域振興活動に携わっています。

——好奇心のままに学んでいるようで何よりです。具体的にはどんな時に、情コミの学びの多様性や学際性を感じていますか。

町田：必修科目の「情報コミュニケーション学入門」の授業で、様々な専門分野の先生方から講義を受けたときです。「こんな学問分野があるのか。情コミの科目に加えて、他学部科目も履修してみたい」と隣接分野にも興味を持つようになりました。情コミでの学びがベースにあるからこそ、学際性を意識した学びを深めることができている。

新井：ゼミで企業と共同開発を行った際に感じました。マーケティング以外に、デザインのアイデア出しや知的財産の知識が問われることもありましたが、法律関連の授業を受けた経験が活き、円滑に打ち合わせできました。ゼロから創造する・問題解決する場面では多角的な検討が必要になりますが、そうした場面で

<p>阿部 力也 学部長</p>  <p>研究テーマ：「犯罪と法」をめぐる重要論点の分析 担当科目：犯罪と法、現代型犯罪と刑法</p>	<p>山内 勇 教授(司会進行)</p>  <p>研究テーマ：イノベーションの経済学 担当科目：情報社会と経済、情報産業論</p>	<p>横田 貴之 教授</p>  <p>研究テーマ：中東・イスラーム研究—現代中東とイスラームから異文化と世界を学ぶ 担当科目：情報社会と経済、地域文化論</p>	<p>田中 洋美 准教授</p>  <p>研究テーマ：メディア、テクノロジーの社会・文化分析 担当科目：ジェンダー論、ジェンダーと社会</p>	<p>ドウ、ティモシー J. 専任講師</p>  <p>研究テーマ：Second Language Acquisition, Language Teaching Methodology, Discourse and Conversation Analysis 担当科目：英語コミュニケーション、英語音声学</p>
<p>WEB 座談会 全文紹介ページは こちら</p>  <p>大学のHPでも閲覧可能です。</p>	<p>新井 野々花</p>  <p>4年 山内ゼミ所属 岐阜県立加納高等学校卒業</p>	<p>松倉 遼佑</p>  <p>3年 川島ゼミ所属 長野県松本深志高等学校卒業</p>	<p>町田 妃奈子</p>  <p>2年 高馬ゼミ(春)・宮川ゼミ(秋)所属 岡山県立津山高等学校卒業</p>	<p>坂本 匡陽</p>  <p>1年 田中ゼミ所属 広島県私立広島国際学院高等学校卒業</p>

使える知識、スキルが着実に身につけている実感があります。

学生の個性を伸ばす 多彩な研究・教育指導

——情コミの持つ学際性や多様性について、先生方はどのような工夫をなさっているのでしょうか。

田中：社会学を軸にジェンダー、メディア、テクノロジーを研究しています。学生たちの多様な関心に応えられるよう柔軟な指導ができればと考え、たとえば研究手法においても、社会学的・人文的アプローチを使い分ける、あるいは組み合わせるなど、研究目的に応じて指導するようにしています。

ドウ：私は主に英語科目を担当しており、授業の一環でコミュニケーションアクティビティを実施しています。情コミには多彩なゼミがあり、学生はみな普段どんなことを学んでいるかを、英語の授業の中で活発に話してくれます。

現代社会に欠かせない グローバル面での取り組み

——情コミが近年ますます力を入れている取り組みの一つに国際性の醸成があると思います。

横田：私は複雑な社会事象を紐解くにあたり、必要な軸が3つあると考えています。歴史から学ぶ時代のタテ軸、国際性のヨコ軸、専門性という第3の軸です。その一つである国際性の醸成において情コミが学部間協定留学とともに力を入れているのが、「世界のキャンパスから」という授業です。これは1年次から受講でき、海外の大学の授業を体験できる講義です。低学年から海外への興味を持ってもらい、短期サマープログラムや長期留学につなげる仕掛けとしています。

真の学際性・多様性を育む 未来を見据えた盤石な指針を

——情コミは2024年に創設20周年を迎えました。21年目のいま、新たなスタートを切るにあたり、学部としてどうあるべきでしょうか。

阿部：10年、20年先も揺るがない盤石なカリキュラムをつくっ

ていきたいと考えています。国際性を磨く一環として第二言語の授業の充実、学際性を打ち出せる取り組みとして他学部履修への柔軟な対応にも引き続き力を入れていきたいところです。また、学部独自のイベントとして、各ゼミの研究や活動成果の発表、聴講を通して情コミの学際性を体感する場である「研究交流祭」を実施していますが、今後も情コミ独自のカラーを打ち出せる取り組みを継続、発展させていきます。

ぶれない軸と広い視野を持ち、自ら課題を発見・解決できる人材に

——最後に、情コミを志望される皆さんへのメッセージをお願いします。

松倉：自分の興味関心が定まっていない、という方だけでなく「新しい可能性を見出したい」という方にも来てほしい学部です。ぜひ情コミで、自分の可能性を広げるチャンスを掴んでください。私自身、1年次は経済学のゼミに所属していましたが、シラバスを読んで興味を持ち履修した政治学がきっかけで、現在のゼミ選択や、国際交流プログラムへの参加につながりました。そこでの学びや出会いから、地方創生に関する学びや具体的な活動にもつながれたと感じます。

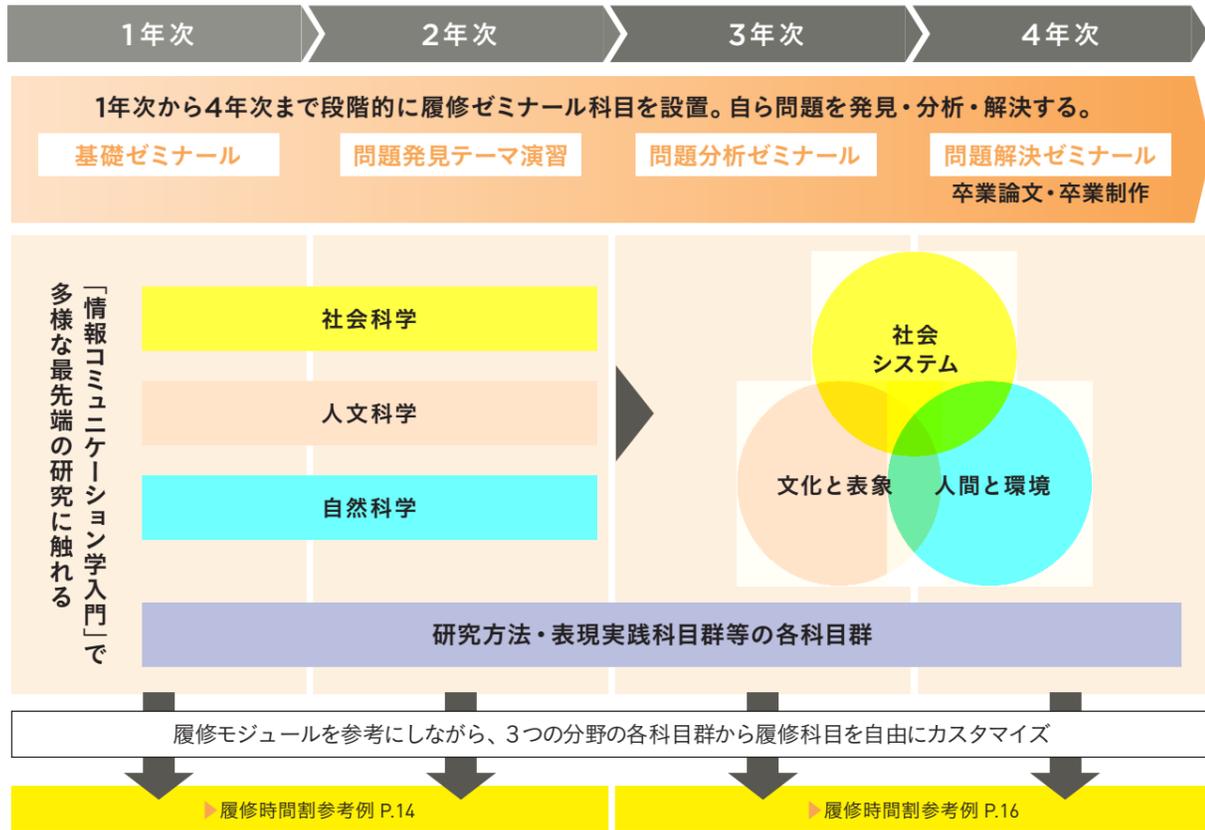
新井：興味関心や将来の方向性を早くから絞る必要はないと思います。もっと貪欲でいいし、好奇心を大切にしたい。色々な角度から学びを深めたい、本質を探っていきたい、そうした思いをぜひ大切にしてください。情コミは、常に学部をよりよくしようと心を砕き、私たちのチャレンジを後押ししてくださる先生方ばかりです。ここでならきっと、自分の居場所を見つけられるはず。皆さんが、情コミで心ときめく学びと出会えますように。

横田：関心のある学びを実践し、専門性を磨き、互いの強みを生かし合う場がここにはあります。真の多様性とは、様々な人が集うだけでは成り立たない。互いに切磋琢磨し合ってこそ生まれ、維持できると考えます。能動的に課題を発見・解決しようという意思を持った方に入学してほしいです。一緒に情コミを盛り上げましょう。

自らカリキュラムをカスタマイズし、 問題を発見・解決する4年間

高校時代までと違い、大学での学問・研究は主体的なものです。

誰かから強制されたり上から押し付けられたりするような学習は大学の本来の学びとは無縁のものです。
本学部は皆さんの主体性を最大限に尊重し、また伸ばすことを目的としたカリキュラムを組んでいます。



[カリキュラム体系図]

ゼミナール科目群	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎ゼミナール	基礎ゼミナール	問題発見テーマ演習 A・B	問題分析ゼミナール I・II	問題解決ゼミナール I・II 卒業論文・卒業制作
学際科目群	情報コミュニケーション学入門 A・B			情報コミュニケーション学
社会科学	家族社会学概論 ジェンダー論 情報倫理 マクロ経済学	環境と社会 市民社会と法 I・II 政治学 ミクロ経済学	経営学 社会学 A・B 組織論 メディア・リテラシー	憲法 A・B 社会学 A・B 情報社会と経済 犯罪と法 I・II 法学
人文学	異文化理解 新興国事情 地理学 比較文化論 A・B	英語文学 A・B 心理学 A・B 哲学 メディア批評	外国文学 生命論 A・B 東洋史概論 歴史学	言語学 宗教学 地域文化論(基礎) 地誌学 日本文学 パブリック・スピーキング
自然科学	科学技術史 人類学 A・B	環境生物学 地球環境科学	情報科学 脳科学	情報検索論
社会システム				イノベーションの経済学 NPO論 現代犯罪と刑法 I・II 国際経済論 A・B 社会福祉学 A・B 人権と政策 ビジネスと法 A・B
文化と表象			先取り履修科目(3・4年次配当科目)	家族と法 I・II 公共政策 A・B 財産と法 I・II 情報システム論 政治とメディア 芸術表現論 英語の文化と歴史 映像表現論 音楽表現論 近・現代史 I・II 言語学研究 社会文化史 スポーツ・ジャーナリズム 地域文化論(スペイン) 比較文化論 A・B
人間と環境				現代アメリカ政治論 国際関係論 I・II ジェンダーと法 A・B シモン・マサット I・II 社会思想史 情報政策論 A・B 情報法 A・B 知的財産論 A・B 犯罪社会学 メディア論 記号論 ジャーナリズム論 I・II 情報デザイン論 情報文化論 地域文化論(ドイツ) 地域文化論(フランス) 地域文化論(イスラム) 日本文化論 A・B
外国語科目群	English Skills A1・II (基礎 中級 上級) English Skills B1・II (基礎 中級 上級) Speech & Debate A・B	Critical Reading Critical Discussion Critical Writing A・B	English Seminar I・II 英語コミュニケーション I・II 英語音声学	
研究・表現実践科目群	(情報リテラシー科目) ICT データベース I・II プログラミング実習 I・II	ICT アプリ開発 I・II ICT 統計解析 I・II 専門情報リテラシー	ICT コンテンツデザイン I・II ICT 総合実践 I・II ICT メディア編集 I・II ネットワーク技術 I・II・III	アルゴリズム実習 I・II ネットワーク技術 IV
海外留学科目群	国際交流	留学関係科目(語学・実習) A	留学関係科目(語学・実習) B	留学関係科目(講義) A 留学関係科目(講義) B
ウェルネス科目群	ウェルネス A・B	ウェルネス・スポーツ A・B		ウェルネス・スポーツ C・D
キャリアデザイン科目群	キャリアデザイン	インターンシップ入門		実践キャリア支援講座
情報リテラシー科目群		ICT ベーシック I・II		
総合講座				総合講座 A～D

PICK UP

英語コミュニケーション能力特別強化プログラム

「SPICE」

情報コミュニケーション学部では、国際社会に対応できる言語力とコミュニケーション能力を身につけた学生を育成するために、独自の特別英語クラスである SPICE (Special Program for Information & Communication in English) を 2014 年度より設置しました。2013 年度から高校の英語に「コミュニケーション英語」が導入されたように、単なる会話以上の内容を議論できる能力が求められています。SPICE は、20 人以下の少人数選抜クラスで、英語でコミュニケーションができる学生を養成します。このプログラムを通じて、グローバル化時代において世界で活躍できる人材の育成を目指します。

コミュニケーション能力重視・内容中心 (content base) の授業

英語で「スピーチ」「ディベート」「ディスカッション」ができるようになるためのトレーニングを行います。会話のためのコミュニケーションに限らず、専門的な学問を「英語」で理解するための講義も用意しています。

経験豊かな教員陣

選抜された少人数の学生に向けて、ネイティブ・スピーカーや海外留学経験のある教員が実践的な授業を行います。授業だけでなくホームワークを効果的に取り入れて、自習時間の指導にも力を注ぎます。

SPICE の紹介はこちら

短期・長期留学に関するアドバイスなども提供し、海外を目指す学生をサポートします。

3つのポイント

特長 1

学際的
学問分野を段階的に

1年次に専任教員がオムニバス形式で授業を行い、多様な研究分野を紹介する「情報コミュニケーション学入門」を、3年次には様々なテーマに基づき専門家を招へいし、オムニバス形式で授業を行う「情報コミュニケーション学」を設置することで、情報コミュニケーション学という学際的学問分野を段階的に学習できるようにしています。

特長 2

履修科目のカスタマイズ

本学部のカリキュラムは『専門科目群』『研究方法・表現実践科目群』の2つが柱となり、それぞれを学部の特長的な科目によって構成しています。入学後、学問・研究の基礎を身につけながら、「履修モジュール」を参考に自身の興味・関心のあるテーマに沿った履修科目を自由にカスタマイズしていきます。

特長 3

全学年に
ゼミナール科目を設置

1年次から4年次までのすべての学年にゼミナール科目を設置し、問題の発見から解決までの過程を自ら主体的に学べるようにしています。

多様な研究の最先端を知り、問題を発見する

「情コミ」には、様々な研究分野をテーマにしている専任教員が多数在籍しています。1年次は、「情報コミュニケーション学入門」を履修し、各回交代で登場する専任教員の専門的な視点からの講義を受講します。現代社会の様々な問題に関する多彩なアプローチの仕方を垣間見ることは、自らが探究する研究を設定するうえで、大きな道標となります。講義科目では、「社会科学」「人文科学」「自然科学」という大きく3つに分類された科目群から、自らが興味・関心のある科目を選択することができます。また、選択必修外国語（英語以外の外国語）教育

は、言語（語学）を通じて異文化を知り、それを尊重するということを目的としています。そのための講座を「演習」科目として設定してあります。「情コミ」は、ゼミナール教育にも力を入れています。1年次には「基礎ゼミナール」が設けられ、ここで、論理的思考、資料の収集・分析、論文・レポート、プレゼンテーション等の基礎を修得します。2年次には「問題発見テーマ演習A・B」が設置されており、ひとつのテーマについて集約的な議論や輪読、また、フィールドワークや作品制作などを少人数で行い、研究を達成するための能力を育成します。

履修モジュールとは

本学部では、1年次から段階を経て学際的知識を修得することが可能となるカリキュラムを設けてあります。卒業要件の124単位のうち、専門科目群に関しては、選択必修科目として64単位以上を履修する必要があります。1・2年次では「社会科学」「人文科学」「自然科学」の[3フレーム]から計10単位（社会科学フレームから4単位、人文科学フレームから4単位、自然科学フレームから2単位）以上を、3・4年次では、残りの履修単位を勘案して、「社会システム」「文化と表象」

「人間と環境」の3つのフレームから自由に履修することができます。学生は自己の問題関心に従い、主体的にカスタマイズした科目履修が可能となります。

わたしたちは、それを支援するために研究課題・問題意識を具現化した[履修モジュール]というものを用意しました。もちろん、この[履修モジュール]は例示でしかありません。学生はそれを参考にして、履修科目を自由にカスタマイズすることができるわけです。

履修モジュールの一例

テーマ	1・2年次	3・4年次
現代社会における企業に倫理は求められるか	経営学/組織論/社会心理学A・B/社会学A・B	組織コミュニケーションA・B/組織と情報/不確実性下の人間行動/倫理学/コーポレート・ガバナンスI・II
表現することと社会・政治・法の間を調べる	メディア・リテラシー/政治学/市民社会と法I・II/社会学A・B/小集団コミュニケーション	情報社会論A・B/現代型犯罪と刑法I・II/知的財産法A・B/情報法A・B/個人と国家/組織と情報/ビジネスと法A・B
「芸術(アート)」と「コミュニケーション」が交差する世界を探究しよう	美学・芸術学/身体コミュニケーションA・B/音楽論/メディア・アート	音楽表現論/身体表現論/映像表現論/造形表現論/メディア教育論/デジタルアートA・B/アート・マネジメント
日本の国際社会における将来を隣国との関係から考える	日本史概論/東洋史概論	異文化コミュニケーション史/国際関係論I・II/社会文化史/近・現代史I・II/地域文化論
メディアにおける都市のイメージを分析する	社会学A・B/異文化理解/地誌学	都市情報論/人文地理学/広告論/メディアの歴史/記号論
「いのち」の観点から人間と社会を考える	生命論A・B/社会学A・B/家族社会学概論/哲学/組織論	生命思想史I・II/倫理学/科学技術と人間

情報コミュニケーション学入門

「情報コミュニケーション学入門」では、本学部教員が執筆・編集した『情報コミュニケーション学への招待』(ミネルヴァ書房、2022年)をテキストとして活用し、オムニバス形式で担当教員がそれぞれの専門的視座から現代社会の諸問題について講義します。

今後の社会で生じる問題は、より一層、複雑で多岐にわたることが予想されます。このような社会を理解し、積極的にかかわっていくには、広い視野で状況をとらえ、様々な領域にまたがる知を協働して問題に取り組むことが重要です。この講義を通じ、自ら問題を設定し、学域横断的な視点・アプローチで問題に取り組むための力を養うことを目的としています。

「情報コミュニケーション学入門」で行われた授業テーマ(一例)

タイトル	担当教員
【生活から社会を解き明かす】 つながる私たち：恋愛、結婚と家族のあり方	施利平
【生活から社会を解き明かす】 現代の罪と罰—法律学を学ぶためのプレリユード	阿部力也
【文化から社会を考える】 舞踊の国際研究から共創へ—琉球・韓国の比較舞踊学	波照間永子
【文化から社会を考える】 イスラームから読み解く政教関係	横田貴之
【コミュニケーションから世界を読む】 おとなりさんは外国人—多文化共生と異文化コミュニケーション	根橋玲子
【コミュニケーションから世界を読む】 組織やコミュニティにおける監視—「見張り」と「見守り」	竹中克久

STUDENT VOICE

1年

幅広い学びの中で
やりたいことを
見出せる環境が魅力



菊地 晴香

神奈川県立横浜翠嵐高等学校卒業

Q 情報コミュニケーション学部を選んだ理由は？

Answer 自分自身の適性や興味が分からず、それを発見するために大学に進学したいと考えていました。情報コミュニケーション学部の最大の魅力は、必修科目が少ない代わりに、関心のある授業を選び、知識の幅を広げられること。また、スケジュール管理がしやすく、インターンシップや学業以外のことに挑戦するなど、時間を有効に活用することができます。

Q 印象に残っている授業を教えてください。

Answer 英語力を高めることで言語に対する不安や苦手意識をなくして、世界中の人とコミュニケーションを取りたいと考え、英語強化プログラムの「SPICE」に参加しました。「English Skills AI」の専用クラスでは、自分の思っていることを英語で伝えるのは難しいと日々感じますが、クラスメイトも海外に興味を持つ人がほとんどなので、刺激を受けることも多くモチベーションが上がります。

Q 将来の目標や目指す進路は？

Answer 一つの課題に対して様々な視点で思考し、課題解決できるようになることが目標です。多様な視点を養うためには、色々なジャンルの学問を学び、活かしていくことが大事です。大学生活の中で、偏見を持たず、同級生や教授の話をたくさん聞くようにし、自分の意見も明確に伝えられるよう、多くの人とかかわっていきたくと考えています。

STUDENT VOICE

2年

国際社会で対応できる
言語力と
コミュニケーション能力
を磨く



大谷 侑生

東京都私立本郷高等学校卒業

Q 情報コミュニケーション学部を選んだ理由は？

Answer カリキュラムの自由度が高いこと、学べる分野の幅広さ、充実したゼミ教育などに魅力を感じたからです。高校生の頃はどのような分野に取り組んでいきたいか明確に決まっていなかったため、学際性と多様性を重視するこの学部を選びました。また、国際社会に対応できる人材を育成する英語プログラム「SPICE」に挑戦したいと考えたのも理由の一つです。

Q 印象に残っている授業を教えてください。

Answer ドウ先生の「問題発見テーマ演習」です。海外のSF映画を鑑賞しながらネイティブの言い回しを学習するほか、科学が社会に及ぼす影響について、英語でグループワークやディスカッションを行い、意見をまとめてクラスメイトの前でプレゼンテーションします。この授業のおかげで英語でのコミュニケーション能力が上がり、映画の見方も変わりました。

Q 将来の目標や目指す進路は？

Answer 多様な分野の学びから幅広い視点や知識を養い、積極的に物事に取り組む姿勢や臨機応変な対応力を身につけることができました。卒業後は旅行業界で働くことを視野に入れており、「SPICE」で培った国際社会に対応できる言語力とコミュニケーション能力を活かし、お客様にとって記憶に残る旅を提供したいと考えています。

[1年次の時間割参考例]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	-	-	-	情報科学 キャリアデザイン	スペイン語AI スペイン語AII	-
2	-	-	-	キャリアデザイン 英語圏文学入門 (文学部)	-	-
3	Speech & Debate A Speech & Debate B	ミクロ経済学	English Skills B I (SPICE) English Skills B II (SPICE)	言語学	-	-
4	English Skills AI (SPICE) English Skills AII (SPICE)	犯罪と法I 犯罪と法II	スペイン語BI スペイン語BII	-	-	-
5	-	基礎ゼミナール 基礎ゼミナール	クリエイティブコミュニケーション (社会学) 経営学	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-

メディア授業科目：社会心理学A、外国文学、情報倫理、情報コミュニケーション学入門A・B、脳科学、西洋史概論
※「メディア授業」…PC等を利用し、授業の一部もしくは全部を教室以外の場所で受講できる授業。

[2年次の時間割参考例]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	Critical Writing A (SPICE) Critical Writing B (SPICE)	家族社会学概論	-	-	-	-
2	-	-	政治学概論	Critical Reading	-	-
3	問題発見テーマ 演習A 問題発見テーマ 演習B	-	-	政治学	-	-
4	-	インターンシップ 入門	組織論	ウェルネスB	-	-
5	環境生物学 英語文学B	日本語表現I 日本語表現II	-	法学	-	-
6	-	-	国際交流 (世界のキャンパスから)	-	-	-

問題を分析し、解決する

3年次以降に学習できる科目は多岐にわたりますが、必修科目はありません。「社会システム」「文化と表象」「人間と環境」と大きく3つに分類された科目群の中から、自己の興味・研究目的に合致した科目を履修すれば良いのです。時には何から学んで良いか分からなくなるかもしれませんが。そのために、履修モジュールを策定しています。この履修モジュールは、授業科目間の関係性を明確にし、授業選択のガイドラインの役割を果たしています。3年次からは「問題分析ゼミナール」が開始され、4年次の「問題解決ゼミナール」へと続いていきます。このゼミナールは、各担当教員の

主要担当科目から設定したテーマを学習する中で、現代社会における情報コミュニケーションの意義と機能を踏まえて、問題点のさらに深い理解と洞察力を養うことを目的としています。4年次の「問題解決ゼミナール」の中には卒業論文作成を目的としたゼミナールもあります。それを選択した学生は「卒業論文・卒業制作」という科目を履修し、情コミの4年間の集大成として卒業論文や卒業制作に取り組むことができます。また、1年生も参加できる「研究交流祭」は、各ゼミの研究・活動成果を発表、聴講を通して情コミの学際性を体感できる場です。

2024年度 研究交流祭 ブロック最優秀賞

発表テーマ	学年
マルハラ（マルハラメント）について	4
藤岡屋日記からみる19世紀前半の『所帯』	1
化粧品のカラー名～法則とその影響～	4
ドラマは現実を反映するのか	3
ビール広告の関連性理論について	3
ドラマタイトルにおける言語学的研究について	4



発表の様子

各ブロック、最も優れた発表をしたチームは閉会式で表彰されます。

ブロック 最優秀賞
坂本分析

STUDENT VOICE

3年
松浦 紗月
北海道
旭川高等学校卒業



多角的に物事を捉え 新たな視点を生み出す場

大学進学時点で、学びたい学問が絞れていなかったため、情コミの学際的な学びに惹かれて進学を決めました。興味のある学問分野を幅広く学ぶことで、「法政策学」という自分が専門的に取り組みたい分野を見つけることができました。研究交流祭での発表に向けて研究を深めていく中で、「多角的な視点から物事を捉える力」、「学域横断を通じて新たな視点を生み出す力」を養うことが

できたと感じています。また、このイベントに参加し、他のゼミの研究内容を詳しく知ることで、異なる分野での研究方法や新たな視点に気づき、多くの刺激を受けました。自身の研究への意欲も一層高まりました。研究交流祭に参加する過程で培われた力を活かし、卒業後は、新たな価値を提供することで人々の生活や社会基盤を支え、新たな可能性を切り開ける人材になることが目標です。

[早期卒業制度]

明治大学情報コミュニケーション学部では、成績が特に優秀な学生を対象に早期卒業制度を導入しています。明治大学大学院情報コミュニケーション研究科をはじめ、そのほか国内外の大学院への進学を希望する学生は、3年次終了時に大学卒業資格(学士)を得て、進学することが可能です。

STUDENT VOICE

3年

異なる分野同士の 関連性を感じ 点ではなく線で 学びがつながっていく



住村 咲彩
神奈川県立川和高等学校卒業

Q 情報コミュニケーション学部を選んだ理由は？

Answer 学際的なカリキュラムに強く惹かれたからです。大学で特定の分野を学ぶという具体的なイメージが持てずいたため、必修科目に縛られず、幅広い分野から自由に受講科目を選ぶことができる点にとても魅力を感じました。異なる分野同士の関連性を感じ、学びが線でつながっていくのを実感できることも、当学部の大きなメリットだと考えます。

Q 印象に残っている授業を教えてください。

Answer 人間行動に関する知識や考え方を学ぶ「不確実性下の人間行動」の講義です。与えられる情報の些細な表現の違いが、意思決定に大きな影響を与えることを知り、潜在的なバイアスの存在に驚きました。意思決定が外部情報により、時には意図的に左右されることを理解し、情報を本質的に分析する力を養うことができたと感じています。

Q 将来の目標や目指す進路は？

Answer 自身が興味のある領域のプロフェッショナルになることが目標です。実際に幅広い分野の講義を受ける中で、多様な分野の中から自分が「好きだ」と感じる学問を見つけ、探求心を持って研究を進めてきた経験を活かしたいと考えています。また、学部で培った、問題解決に必要な多角的な視点や柔軟な姿勢も、将来に役立てていきたいです。

[3年次の時間割参考例]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	-	-	-	-	-	-
2	パーソナリティ心理学 自然言語の生成モデル	-	-	メディア教育論	-	-
3	不確実性下の人間行動 問題解決ゼミナールI	問題分析ゼミナールI	不確実性下の人間行動	-	-	-
4	犯罪社会学	-	マスコミュニケーション論A	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-

STUDENT VOICE

4年

領域横断的な学びで 培った柔軟な発想 不可能を可能にする 解決策を生み出したい



渡辺 悠志郎
東京都
私立渋谷教育学園渋谷中学校高等学校卒業

Q 情報コミュニケーション学部を選んだ理由は？

Answer 一般的な枠組みにとられない、学際的な学びができると思ったからです。情勢が不確実で、情報が複雑に絡み合った現代社会において、特定の学問領域だけでは解決が困難な課題が山積していると感じています。自由で創造的な思考力を養いたいと考えていた中で、学びを領域横断的に広げられる情コミのカリキュラムはとても魅力的でした。

Q 印象に残っている授業を教えてください。

Answer 少人数制授業の「実践キャリア支援講座」です。協力企業の社員の方々が講師となり、マーケティングやデジタル・トランスフォーメーション(DX)についてワーク形式で学びます。授業内容が難しいと感じたこともありましたが、マーケティングのシステム構造や顧客体験の工夫などの現場のリアルな話は興味深く、自身の進路を決めるヒントにもなりました。

Q 将来の目標や目指す進路は？

Answer 卒業後は、今までにない新たな道を切り開くことができるコンサルタントになることが目標です。大学では、物事を多面的に捉え、様々な分野を組み合わせられる柔軟性が身につきました。従来やり方では太刀打ちできないような課題に悩む企業や公的機関のために、情コミで得た知識と経験を生かして実現可能な解決策を探したいと思っています。

[4年次の時間割参考例]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	情報産業論	-	-	-	-	-
2	-	実践キャリア支援講座	-	リスク社会論	-	-
3	不確実性下の人間行動 問題解決ゼミナールI	-	消費行動の心理学	-	-	-
4	問題解決ゼミナールI	-	国際経済論A	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-

ゼミナール教育で得られる 情報コミュニケーション学部の醍醐味



ゼミナール（略称「ゼミ」）では、10～15名程度の比較的少数の学生がひとりの教員とともに、通常の大教室の授業では得られない双方向のコミュニケーションをとりながら学んでいきます。大学で学ぶことの初歩から専門的分野、資料の読み方や議論の仕方、レポート・論文の作成、プレゼンテーションまで幅広く、学んでいきます。大学における「学び」の醍醐味が得られるのがゼミなのです。本学部では、1年次から4年次まで段階的に履修するゼミナール科目を設置しています。1年次は基礎ゼミナール、2年次には問題発見テーマ演習、3年次には問題分析ゼミナール、4年次には問題解決ゼミナールが置かれています。3・4年次は2年間一貫して同一のゼミを取る必要があります。

■ 学年ごとに所属ゼミを変えた場合

様々な分野を学び、
自分の興味が
明確化されました

4年
草野 愛美
東京都立
立川高等学校卒業



●なぜ、学年ごとに異なるゼミを選択しようと思ったのか教えてください。

大学では様々な学問を学び、視野を広げたいと考えていました。イスラームの文化や宗教に関心があったため、1年次は横田先生のゼミを選択。ゼミ以外では心理学や芸術学を中心に履修しました。2年次前期で平成の社会文化を学ぶゼミに所属したのは、1年次に学んだことと全く異なる分野に触れたかったからです。また、2年次では前期と後期で異なるゼミを選べる制度を活用。後期から大学に入るまで知らなかった言語学に挑戦しています。

●学年ごとに異なるゼミに所属して、よかったことは何ですか。

1年次のゼミで異文化を学び、様々な立場に立つ正義について考えたことで多角的な視点が身につきました。この視点が、その後、他のゼミで学んだ事柄に対するより深い理解につながったと感じます。また、様々な分野を学んだことで、自分の興味が明確化されました。元々ファッションは好きでしたが、川島ゼミで平成のファッションについて研究したことで、より深めたいと思うように。卒業後は衣装スタイリストになるために、まずはアシスタントとして師事する予定です。



■ 4年間、同一ゼミに所属した場合

学びを重ねることで
物事のつながりに
気づけるようになりました

4年
吉田 蒼羽
埼玉県
私立川越東高等学校卒業



●なぜ、このゼミを選択しようと思ったのか教えてください。

1番は、竹中先生のもとで学べるからです。先生の講義やフィードバックは非常に面白く、勉強になるため、先生のものの見方や考え方を学びたいと考え、所属を決めました。1・2年次の講義の中で最も興味を持った組織社会学がテーマであることや、ディスカッションができることも選択理由です。情コミではディスカッションの機会が多くあり、意見を交わす面白さを学びました。他者との交流は自分にはない視点や考え方を与えてくれると感じます。

●4年間を通して同一ゼミに所属して、よかったことは何ですか。

物事のつながりに気づくことができるようになったと感じます。一つひとつの学びが自分の身になるのはもちろんですが、ゼミ活動を積み重ねるうちに、過去に学んだことと現在学んでいることがつながる瞬間があり、一気に理解が深まりました。この視点は社会事象の本質を捉え、根本的な原因を探ることに活きています。また、多くのディスカッションを通じて、議論を円滑に進めるコミュニケーション能力や発想力が向上しました。



PICK UP ゼミナール

施 利平 ゼミナール

社会学の視点で、
恋愛・結婚・家族を見つめなおす

施 利平 教授

恋愛や結婚、家族について社会的に探究し、相対的かつ客観的に考察するゼミナールです。ゼミ生のキャリアデザインやライフデザインに指針を提示し、仕事や生活に役立つ学びを提供します。施ゼミは、学友や教員とのかかわりの中で、自分自身を受け入れてもらえる安心感や、感情や考えを共有できる喜び、成長の実感を得られる場です。学年を超えた交流を重視し、3・4年生と大学院生の合同ゼミも実施します。下級生は先輩の論文の内容を学び、上級生は下級生の発表にアドバイスすることで、相互に高い学習効果を得られます。ともに学問の楽しさを味わい、人生を豊かにする土台を築きましょう。



PROFILE -----
施 利平：大阪大学で博士号を取得。兵庫県家庭問題研究所勤務を経て、2003年から明治大学に勤務。研究テーマは日本の家族・親族研究、中国の一人っ子世代の結婚と出産、中国の都市化と世代間関係。

宮本 真也 ゼミナール

社会学、社会哲学における理論を通じ
身近な現象を見つめる

宮本 真也 教授

「現代社会と社会理論」というテーマのもとで、私たちが現代において疑問に思う問題について、学生の関心に耳を傾けながら一緒に考えていきます。考え方の基本は、社会学、社会哲学における抽象的な理論ですが、取っつきにくそうに見えて、実は私たちの身近な現象を言い当てたり、説明したりしていることに気づいてもらえるようにしています。これまで「スポーツにおける暴力と指導」、「幸福を生む産業」、「ネットと格差社会」、「教育格差」、「ラジオ番組と現代」、「現代における幸福」などがテーマとして取り組まれてきました。大学でしかできない「分かる」楽しさと喜びを共有できるように努めています。



PROFILE -----
宮本 真也：専門は社会学、社会哲学。コミュニケーションと社会的承認をキーワードに、社会の発展のダイナミズムとそれに付随して生じる社会的な病理に関心があります。社会は進歩しているはずなのに、どうして生きづらいのか、どうして生活が苦しい人々がいるのか、ジェンダーやセクシャリティ、生き方をめぐって、どうして私たちはまだそれほど自由で平等ではないのか、そうした原因について考えています。

内藤 まりこ ゼミナール

言語表現を理論を用いて分析し、
自分や世界の深層を解明する

内藤 まりこ 准教授

私たちの生活空間には、文学や映画、演劇、漫画等、様々な言語表現が溢れており、それらは趣味や娯楽の対象として広く享受されています。しかし、このような日常の鑑賞の場においては、言語表現が私たちの物事に対する思考や認識のあり方を形作っているということはあまり意識されません。本ゼミでは、こうした言語表現の深層の働きに迫るべく、「批評理論」と呼ばれる、言語表現を読み解くための専門的な技術を習得し、文学や映画、演劇、漫画等の言語表現を分析することで、日常感覚の敷衍によっては導き出すことのできない作品の解釈や作品と歴史的・社会的背景とのかかわりを理解する方法を身につけられるでしょう。ゼミ生はゼミでの議論を通じて分析方法を学びつつ、自らが選択した作品や事象に対して論点を立ち上げて分析に取り組み経験を積み、研究成果を卒業論文にまとめます。



PROFILE -----
内藤まりこ：専門は日本古典文学研究・比較表象論です。学部では社会学を専攻し、現代社会の課題を解決するための様々な視座を学び、大学院では現代社会を相対化する自分独自の視座を確立したいと思い、批評理論を学んで日本古典を研究しました。情コミでは、複数の研究領域を学んだ経験を生かし、多様な興味関心を抱く学生の皆さんの探究心に応えられるように視野を広げていきたいと思っています。

坂本 祐太 ゼミナール

私たちの身の回りにある「ことば」の
不思議を発見・分析・解決する

坂本 祐太 准教授

私たちが日頃何気なく使っている「ことば」には、実は様々な不思議が潜んでいます。たとえば「マロリーヌ」と「チョリッツ」というお菓子の名前では、前者の方が甘くて柔らかそうな印象を感じるのはどうしてでしょうか？ また、どうして私たちはあまり気が乗らない他人からの誘いを断る際に、わざわざ相手に配慮して断る理由を考えたり、時には嘘をついたりするのでしょうか？ 本ゼミナールでは、このような「ことば」の不思議をゼミ生が主体的に見つけ出し、その謎を言語学の理論に基づき解き明かすことを目標としています。



PROFILE -----
坂本 祐太：専門は言語学（生成文法統語論）で、特に「ことば」の省略現象を中心に研究を進めています。情コミでは自分の研究分野だけでなく、様々な観点から「ことば」の面白さを伝えるべく日々努力しています。日本の大学を卒業後にアメリカの大学院で学位を取得した経緯から、英語の勉強法や留学の相談に乗ることも多くあり、様々な面で充実した大学教員生活を送っています。

情報コミュニケーション学部ならではの 多様な科目

外国語科目群

英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ

ドウ,ティモシー J. 専任講師

This course teaches English communication skills so that you can use English to interact with people from around the world. In every class, students have many opportunities to use English and develop their communication skills in group discussions and activities.



4年
外川 皓慈
静岡県立
沼津高等学校卒業

この講義では、何気ない会話や公の場での対談などのコミュニケーションを分析し、発言の意味や話し方が時と場所に応じてどのように変化するかを考えます。会話を正確に聞き取るリスニング力や、会話の主題や発言の要点を理解する読解力が身につきました。得手不得手にかかわらず、生の英語に触れ、英語ならではのニュアンスを理解したい人におすすめの講義です。

情報リテラシー科目

プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ

山崎 浩二 准教授

私たちはなんらかのソフトウェア=プログラムを通してコンピュータを利用します。従って、プログラムがどのように動作し、どのように作成されるのかを理解することは、コンピュータに対する理解を深めるために重要です。この科目では、プログラミング言語としてJava言語を用い、実習を通してプログラミングの基礎を学びます。



3年
松尾 光晟
神奈川県立
大船高等学校卒業

初心者の方、少しでも興味のある方にぜひ受講していただきたい授業です。僕は文系で苦手意識を持っていましたが、丁寧な指導により、後れを取ることなく理解できました。学んだ内容を実践することで、基礎的なプログラミングの知識と実践力が身につきます。またプログラミングがうまく実行されない際に、誤っている部分を見つけ改善する過程で、問題発見能力も養われました。

日本語表現科目

日本語表現Ⅰ・Ⅱ

内藤 まりこ 准教授

日々私たちは自分とは異なる経験、背景を持つ様々な人々に出会っています。「日本語表現」では、他者の考えを正確に理解し、自分の考えを人々に分かりやすく伝えるための方法や技術を体得し、本学部の目指す教育目標の基礎を培うことを目指します。「日本語表現Ⅰ」では、「書くこと」に焦点を絞り、日本語表現の諸形式を学び、目的や状況に応じた日本語での作文の技術を身につけます。「読むこと」を中心とする「日本語表現Ⅱ」では、様々な形式による日本語表現の読解を通じて、日本語を取り巻く多様なテーマについて考察し、自らの思考を複数の表現形式にまとめる実践も行います。



1年
森本 すす
神奈川県
私立山手学院高等学校卒業

講義で学んだ論理的思考を人と会話する際にも活用することで、物事を分かりやすく説明することができるようになり、言語化能力が向上したと感じます。また、「論理とは何たるか」を知ったことが、物事の真髄を見つめ、深く思考することにつながりました。さらに、読解力も上がったと実感しています。言葉に興味のある人はもちろん、あらゆる学問を学ぶ人の役に立つ授業です。

クリエイション科目

身体コミュニケーションA・B

沖縄では、旧盆になると、太鼓をもった若者たちが勇壮な舞「エイサー」を披露します。ダイナミックな舞と太鼓の響きは、先祖の霊をもてなし送り出すという信仰上の役割を持つのです。また、その芸態の魅力は沖縄系移民によって世界各地に伝えられ、移住先の文化と融合しNew Eisaと呼ばれる太鼓パフォーマンスを創造しています。

本授業では、非言語コミュニケーションの基礎理論の修得と「エイサー」の実習を通して、身体によるコミュニケーション能力を身につけるとともに、受講生の感性を生かした作品づくり「創作法」の修得を目指します。



2年
小長 美莉
東京都立
三田高等学校卒業

様々な分野を幅広く学べる点に惹かれ、情報コミュニケーション学部を選択。「身体コミュニケーションB」の授業では、エイサーを通じて沖縄の歴史や文化を学び、身体を用いた非言語的コミュニケーションを実践しました。授業後半では、グループに分かれて講義で得た知識や議論の内容を活かしながら「新エイサー」を創作。チームで一つの作品を創り上げたことで、講義形式では得られない協調性が身についたと感じます。

リサーチリテラシー科目

科学リテラシー

石川 幹人 教授

マイナスイオンにゲルマニウム、コラーゲンからデトックスまで、人体に有効とされるもののブームが現れては消えていきます。それらには十分な科学的証拠がないまま、宣伝ばかりが先行しています。科学の信頼をよそおった疑似科学ビジネスなのです。自然科学はもとより、社会科学や人間科学の発展が文明を支えてきましたが、科学の先端では不確実な理論やデータがあふれています。本授業では、科学的なものの見方や考え方を身につけ、科学と疑似科学とを適切に評価できるようにします。高校まで確実な知識ばかりを習ってきた方には、目からウロコが落ちるような体験があるでしょう。



2年
原澤 涼太
東京都立
国立高等学校卒業

勉強と研究の違いを学ぶところから始まり、研究の方法や社会的意義を学びつつ、科学的なものの見方や評価方法を修得。社会にあふれる様々な科学的情報を鶏呑みにせず、合理的に判断する力が身につきました。さらに、仮説の立て方やその評価方法を学び、調査や実験などの概念を詳しく知ることで科学的研究に対する理解が深まりました。大学の学びの基盤といえる講義なので、研究職を志す人にはぴったりだと思います。

キャリアデザイン科目群

キャリアデザイン

キャリアデザイン科目群では、1年次に「キャリアデザイン」、2年次に「インターンシップ入門」、3年次に「実践キャリア支援講座」の科目を設置し、大学卒業後に社会で働くことについて主体的・実戦的に学べるよう充実したプログラムを提供しています。「キャリアデザイン」では、企業やNPO等の第一線で活躍されている方々から、仕事や学生時代について話を聞き、働くことの意味について考えます。「インターンシップ入門」では、自己分析講習や業界・企業研究を通じて、より実践的にインターンシップの概要を学びます。「実践キャリア支援講座」では、高度情報社会を牽引する企業から与えられた課題に対して、グループワークを通じて解決策を提案することで、リアルなビジネスの機会を体験します。



2年
村原 沙紀
神奈川県
私立森村学園高等部卒業

様々な業界で活躍する、それぞれ多様な経歴を持った方のお話を聞くことができます。企業就職以外のキャリアについて考えるきっかけを与えてくれました。講師の方は失敗談などもざっくばらんに話してくださり、人生のあらゆる場面で役立つ知見を得られました。将来の目標が漠然としている人や決まっていない人には特に受講してほしいです。

情報コミュニケーション学部の 国際交流プログラム

情報コミュニケーション学部では学部独自の学部間協定留学プログラム・短期学生交流プログラムを積極的に推進しています。
※2025年4月時点でのプログラム内容です。

情コミ学部独自の学部間協定留学

学部間協定留学とは、情報コミュニケーション学部が独自で協定を締結している大学・学部に、交換留学生として半年または1年間留学するプログラムです。

協定校	シーナカリン ウィロート大学 人文学部	香港城市大学 人文社会科学学院	ベトナム国家大学 ハノイ外国語大学 日本語文化学部	ハノイ貿易大学	ゲート大学 言語学・文化学・ 芸術学部
所在地	タイ・ バンコク	中国・ 香港特別行政区	ベトナム・ハノイ	ベトナム・ハノイ	ドイツ・ フランクフルト
授業言語	英語/タイ語	英語	英語	英語	英語/ドイツ語



多様な短期留学プログラム

イギリス ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院 (SOAS) 主催のサマープログラムに参加

現地でのサマープログラムに参加し、歴史ある首都ロンドンの中心で、大学内外を探索の場として活用できる、自由度の高いプログラムです。

参加者は英語力向上のサポートを受けながら、自身が選択した専門分野の講義を受け、セミナー、ディスカッション、ケース・スタディ、フィールドワークに取り組みます。



参加学生の声

- 世界レベルの大学で先生方と議論する経験を通して、成長を実感しています。SOASでの学びを研究に生かし、卒業後もロンドンで学び続けたいと思っています。
- 観光地でのフィールドワークが新鮮で楽しく、印象に残っています。先生のガイドのもと、ロンドンの街を満喫することができました。

メディア 海外ロケ体験プログラムをテレビ局と共同で実施

テレビ局の現役ディレクターを講師に招き、メディアに関する事前講義や機材の扱い方を修得し、約7日間の海外ロケ体験に参加します。渡航後は、現地の方へのインタビューを行い、現地の文化を学びながらVTR制作に挑戦します。海外ロケ終了後はテレビ局のスタジオにて、プロの番組ディレクターの指導の下、模擬番組制作に取り組みます。一連の体験を通して、製作者の視点からメディアリテラシーを養うことを目指します。



参加学生の声

- いつも見ているテレビ番組の制作側を体験できたことは、とても貴重な機会でした。
- 現地の人との交流を通して文化を深く知ることができ、よい経験になりました。
- このプログラムを通じて、積極的に物事に取り組む姿勢が身につきました。今後もこの姿勢を忘れず、何事にも挑戦していきたいです。

タイ シーナカリンウィロート大学への短期派遣プログラム

参加学生は、約2週間、シーナカリンウィロート大学の日本語専攻の学生たちと交流します。タイの学生らと市内やタイ文化を知るための史跡見学なども予定しています。異なる社会や文化背景を持つ同年代の現地学生と親密に交流することで、単なる観光では得ることができない「気づき」のきっかけとなるかもしれません。



参加学生の声

- 初めての海外でしたが、毎日、色々な人や文化や習慣といった新しいものに出会えてすごく刺激的でした。
- 企業見学で現地に駐在されている方の話を聞くことができたことも自分の将来についての視野が広がったのでよい機会になりました。

[その他の短期留学プログラム]

その他の短期留学プログラムについては、実施が決定次第、右のQRコードより最新の実施状況が確認できます。



STUDENT VOICE

ゲート大学

一人で抱え込まず、
周りを頼っていいことを
世界が教えてくれた

3年
野村 浩紗
千葉県立鎌ヶ谷高等学校卒業



留学先で友人と旅行中の1枚

実際に海外で生活する経験を得て、自分の視野を広げたいと考えて留学を決意。日本の魅力を世界に発信したいと思っていたこともあり、日本学部があるゲート大学を選びました。現地では日本の書物を題材にした授業や、移民に関する授業を履修。大学のあるフランクフルトは、ドイツ国内でも特に移民が多く、現実味のあるテーマとして理解を深められたと感じます。語学力も鍛えられ、政治や国際情勢などの話題にも参加できるように。留学を通じて成長を感じたのは、「周りを頼ってもいい」と思えるようになったこと。自分の弱みを認め、声をあげれば状況は変わる。異文化環境であっても積極的に人とかかわったからこそ得られた、貴重な学びとなりました。



学食で友人とランチ

STUDENT VOICE

香港城市大学

異なる価値観や
言語の壁を乗り越えて
得られる学びがある

3年
田和 直碧
東京都私立自由学園高等学校卒業



留学中にイベントを主催 (本人中央)

世界で最も国際的な大学として評価されていることに魅力を感じて香港城市大学へ留学。学内の公用語が英語であることにも興味がありました。元々海外志向があり、異なるバックグラウンドの人との交流を通じて自分の価値観を広げたいと考えていたことも、留学を決めた理由のひとつです。現地で過ごす日々は、すべてが楽しく、成長につながっていると実感しました。主に学んだのは、マーケティング。グループを組んでリサーチを行ったり、レポートを書いたり、異なる価値観や言語の壁に対処しながら1つの課題に取り組むことは、留学ならではの経験であり、とても学びになりました。英語でアウトプットする力も磨かれたと思います。



留学先で友人と旅行

- ① 主な担当科目
- ② 研究テーマ
- ③ メッセージ

阿部 力也 教授
色々な犯罪にみる「現代的特徴」の考察
共犯の比較法的考察
(とくに日本法とドイツ法)

- ① 犯罪と法、現代型犯罪と刑法
- ② 「犯罪と法」をめぐる重要論点の分析
- ③ 色々な「もの見方」のなかから、「法的な思考」を身につけるメリットに気づいて欲しいと思う。意外に、皆さんにとって現代社会を生き抜くための「方策」になるのでは?

江下 雅之 教授
技術と産業・社会の相互作用の相互関係の研究

- ① 情報社会論、メディアの歴史
- ② メディア環境とライフスタイルの相互作用的な関係
- ③ 実用的な知識は社会人になればイヤでも習得するもの。大学生の時代こそ(役に立たないこと)に熱中しましょう。

鈴木 健 教授
カルチュラル・スタディーズ
読得コミュニケーション論

- ① メディア批評
- ② カルチュラルスタディーズ入門ーメディア批評の方法論を学ぶ
- ③ 現代社会をポップ・カルチャーと読得コミュニケーション論を通じて読み解く方法を学びましょう。

大黒 岳彦 教授
「メディア」と「情報」の思想・哲学的研究

- ① 哲学、メディア論
- ② 現代社会の(現在(いま))を多角的に掘り下げる
- ③ 自分だけの「問題」を見つけ、それとことごとくわかること。

根橋 玲子 教授
主に日本人の異文化接触における対人コミュニケーション行動

- ① 異文化理解・異文化間コミュニケーション
- ② 組織コミュニケーションと組織行動学
- ③ 皆さんとともに組織の問題をコミュニケーションの視点から考えていきたいと思ひます。
- ④ 大学では、様々な背景の人々との出会いや学びを通して、多文化に生きることを体感してください。

山口 生史 教授
組織がうまく機能するためのコミュニケーション学

- ① 組織コミュニケーション
- ② 組織コミュニケーションと組織行動学
- ③ 皆さんとともに組織の問題をコミュニケーションの視点から考えていきたいと思ひます。

後藤 晶 准教授
行動経済学・実験経済学
協働行動・利他的行動に関する研究

- ① 情報と経済行動、不確実性下の人間行動
- ② 行動経済学・実験経済学：人間の行動と社会制度を考える
- ③ 大学時代は様々なことに「悩む」時代です。よく悩み、いろんなことにチャレンジして、自分の新たな可能性を切り拓きましょう。

内藤 まりこ 准教授
日本文学・文化研究、批評理論を用いた比較文学・文化研究

- ① 日本語表現
- ② 言語表現を読み解く技法：理論と実践
- ③ 文学や映画を題材に、世の中を少し異なる角度から眺める方法を見つけよう。

和田 悟 准教授
法分野を中心とした情報技術応用

- ① 情報社会と安全
- ② アジアに目を向け情報社会と情報技術について考える
- ③ いそがず、じっくりゆきましょう。

宮田 泰 専任講師
現代社会における私的紛争の解決をめぐる制度と手続きの考察

- ① 紛争解決システム論
- ② 紛争解決システム論
- ③ 情報コミュニケーション学部でもに学びましょう。

石川 幹人 教授
人間の認知機能を生物進化の歴史に位置づけ、様々な心理現象の背景を探る

- ① 科学リテラシー、脳科学、認知科学
- ② 私たちの身の周りにおける奇妙なことを発見し探究しよう
- ③ 人間と社会、それらを取り巻く地球環境など、大きなことを見とす力を養ってください。

清原 聖子 教授
現代アメリカ政治とメディアの関係:情報通信分野に関する日米比較政策研究

- ① 情報政策論、現代アメリカ政治論
- ② アメリカ大統領選挙、ネット選挙、フェイクニュースなど
- ③ メディアやソーシャルメディアを切り口に、政治学的な視点から現代社会の諸問題を捉え、解決策を考えてみませんか。

鈴木 健人 教授
国際安全保障、冷戦史、構成主義の国際政治理論の研究

- ① 国際関係論
- ② 米国の覇権が揺らぎを見せる中で進んでいる国際秩序の変動を理解し、日本の進むべき方向を見定める
- ③ 厳しい現実を冷静に分析し前向きに問題解決を考えよう、たくまさを身につけよう。

竹中 克久 教授
組織社会学、組織文化研究(組織シンボリズムおよび組織美学)

- ① 組織論、組織と情報
- ② 組織社会学ー現代社会を読み解くー大胆な発想から精緻な論理を組み立てる楽しさを伝えていきたいと考えています。

波照間 永子 教授
身体技法および舞踊技法の研究、無形文化財のアーカイブ化(記録・保存)、現代芸術の創造

- ① 身体表現論
- ② 芸術コミュニケーション研究ー社会におけるアートの役割・問題を検討するー
- ③ 様々な体験を重ね、試行錯誤しながら、あなた自身の「ぶれない軸」(強み)を見つけましょう。

横田 貴之 教授
中東地域研究、イスラーム主義運動研究

- ① 多文化と相互理解、地域文化論
- ② 中東・イスラーム研究ー現代中東とイスラームから異文化と世界を学ぶ
- ③ 様々な体験を通じて、自分の人生における「推し」を見つけよう。

小林 秀行 准教授
災害社会学、災害情報学、リスク社会学、とくに、住民主体の災害対策や災害復興に関する研究

- ① リスク社会学
- ② リスク社会をどう生きればいいのかー調整と共生から考える現代社会
- ③ 大学は、新たなものへと触れる機会に溢れた場所です。多くに触れ、学び取り、あなただけの夢や志を見つけていきましょう。

蛭川 立 准教授
心身問題への人類学的アプローチ、儀礼とコスモロジーの研究

- ① 人類学、身体と意識、不思議現象の心理学
- ② 人類学と意識研究
- ③ 世界には不思議がいっぱい。よく観察し、よく考察しましょう。

齋藤 航 専任講師
債務不履行および不法行為に基づく損害賠償請求の根拠とその範囲

- ① 市民社会と法、財産と法
- ② 民法における債務不履行責任、不法行為責任
- ③ 法律を学ぶ楽しさ、ルールに基づいて問題を解決する面白さを知ってもらいたいと思っています。

竹崎 一真 専任講師
スポーツと身体をめぐる社会学

- ① ウェルネス、ウェルネス・スポーツ
- ② スポーツ社会学、身体とジェンダーに関するカルチュラル・スタディーズ
- ③ 学びとは頭で考えることだけではなく、身体的な経験を通して得る知識=「身体知」という言葉があります。身をもって新しい知と出会い、考え、またこれまでの当たり前を問い返すような、そんな学びの地平を切り拓いていきましょう。

今村 哲也 教授
情報社会における知的財産法上の政策課題の検証

- ① 知的財産法、ビジネスと法
- ② 知的財産に関する諸問題の研究
- ③ 情報社会を生き抜くためには、知的財産法に関する知識と理解が必要です。

高馬 京子 教授
超域文化としてのファッション、流行論、日仏ファッションメディアにおけるファッションとジェンダー表象

- ① 超域文化論、地域文化論
- ② クリティカル・ファッション・スタディーズ:メディアにおいて構築/伝達されるファッション(服飾流行)とジェンダー像
- ③ 情コミでの様々な学びや経験を通して、視野を広げ、深め、好奇心、探求心を持って自分の夢を見つけてください。

鈴木 雅博 教授
学校組織における教師間相互行為

- ① 情報社会と教育
- ② 学校の社会学
- ③ 学ぶほどに問いが深まり、問いが深まることでそれまでの自分の考えが揺らぎます。自分を揺さぶる学びをしてみませんか。

田村 理 教授
フランス憲法史、フランス革命と憲法、日本の政治文化と立憲主義

- ① 憲法、人権と政策、個人と国家
- ② 現実の人と社会と憲法の描く人と社会のズレを明確化し考察する
- ③ 与えられたレールの上で歩む時代は終わりました。社会にアピールして居場所をつくる発信力を大学で身につけてください。

日置 貴之 教授
歌舞伎における戦争・災害表象、近現代日本における演劇・芸能の古典化

- ① 日本文学、日本文化論
- ② 日本演劇研究、江戸時代後半から明治時代の演劇(歌舞伎)における戦争や戦争の描写
- ③ 「研究」ということを苦痛なく考えず、身の回りのどんなことでも研究対象になりうるのだと思ってください。自分が関心を持つ事柄について、少しじっくり考えてみましょう。

小田 光康 准教授
マスメディアと高等教育の比較制度分析、ジャーナリズム・マスコミュニケーション教育、メディアクリティーク

- ① メディア教育論
- ② ジャーナリズムと戦略コミュニケーションの理論と実践に関する研究
- ③ メディアを通じて情報発信するメディアリテラシーが求められる現在、メディアの現在進行形と一緒に学びましょう。

坂本 祐太 准教授
言語理論に基づく「ことば」の研究

- ① 言語学
- ② 言語理論に基づく「ことば」の研究
- ③ コミュニケーションの代表的なツールである「ことば」が持つ様々な不思議を一緒に紐解きましょう。

堀口 悦子 准教授
「ジェンダー」視点でコミュニケーションから法制度までを分析

- ① ジェンダーと法
- ② ジェンダーに基づく性暴力、ヒューマン・セクソロジー
- ③ 「ジェンダー」を知っている人も知らない人も、一緒に学び、考えてみましょう。

高橋 華生子 専任講師
国際開発、都市・地域計画、NGO研究

- ① 国際開発論
- ② 途上国・新興国の都市における空間開発のあり方を検討する
- ③ 「ネットワーク」を生かして、経験からの学びと遊びを一緒に探っていきましょう。

増野 亜子 専任講師
音楽や芸術における音・人・環境の相互関係を探る民族音楽学、音楽人類学

- ① 音楽論、音楽人類学
- ② 東南アジアの伝統芸能・音楽の調査研究
- ③ 正解への近道を知ることよりも、時間がかかっても自分で問いを立て、答えを探し、色んな人や物事に出会って寄り道しながら進んでいく方がずっと面白い。それぞれの問いを追求する探検家になろう。

岩淵 輝 教授
生命論(生命とは何か) 生命思想史 グスタフ・フェヒナーの精神物理学

- ① 生命思想史
- ② 生命の探究
- ③ 好きなこと、本当に大事だと思うことを、追求しつづけてください。

施 利平 教授
東アジアにおける家族・親族関係の容容と持続

- ① 家族社会学
- ② 恋愛・結婚・家族の社会学
- ③ 知力とともに気力、体力とコミュニケーション力を身につけよう!

須田 努 教授
歴史学とはどのような学問なのか、現代社会を理解するための日本史研究

- ① 歴史学、社会文化史・異文化コミュニケーション
- ② 日本近世・近代の社会文化、民衆暴力
- ③ 歴史的センスを身につけて、よりよい将来を模索するための知を創り上げましょう。

塚原 康博 教授
高齢化時代の公共政策

- ① 公共政策
- ② 情報化・少子高齢化・グローバル化時代の公共政策
- ③ 現代社会を「論理的」かつ「有機的」に考える力を身につけてください。

宮本 真也 教授
コミュニケーションと相互承認の社会理論

- ① 社会学、コミュニケーション思想史
- ② 批判的社会理論
- ③ 現代という時代、日本という社会を超えていく考え方を、大学時代に身につけましょう。

川島 高峰 准教授
非欧米圏における近代化・民主化の比較

- ① 政治学、政治とメディア
- ② ミレニアル・Z・α世代の日本国家論/日本論
- ③ 情報社会やデータエコノミーで活躍できる「人間力」を養いましょう。データやAIなど素材や道具だけではイノベーションは起こりません。

清水 晶紀 准教授
行政活動の不作为に対する法的統制、原子力行政の実態分析とその法的統制

- ① 現代行政と法
- ② 各アクターの視点で環境行政の課題を分析し、法政策を提言する
- ③ 情報コミュニケーション学部だからこそ得られる「何か」があるはず。それを一緒に考え、そして組み取りましょう。

山崎 浩二 准教授
コンピュータを用いた様々なシミュレーション

- ① 情報科学、プログラミング実習
- ② LSIの故障検査
- ③ 自分がおもしろいと思えるものを見つけて、大学を楽しんでください。

ドウ、ティモシー J. 専任講師
第二言語修得

- ① 英語コミュニケーション、英語音声学
- ② Second Language Acquisition, Language Teaching Methodology, Discourse and Conversation Analysis
- ③ Don't be discouraged by your mistakes - they are your biggest opportunities to learn and develop!

大島 岳 助教
生きるための理論としてライフヒストリー研究を彫琢する

- ① 社会学調査法、質的調査分析法、社会学実習
- ② ライフ・オーラル・ヒストリー研究、社会的苦悩とレジリエンス(特にHIV/エイズ)のマイノリティ
- ③ 夢中になって打ち込める何か、行ったことのない道を歩く勇気を持つこと。社会学は、世界と自分の人生をより良くするための終わりなき挑戦です。一緒に学びましょう。

牛尾 奈緒美 教授
企業に働く人々がジェンダーの枠を超えて活躍できる場・方策を考案

- ① ジェンダー・マネジメント
- ② 企業に働く人々がジェンダーの枠を超えて活躍できる場・方策を考案するなど、組織のダイバーシティ推進に関する研究
- ③ 幸せなキャリア、自分にあった生き方は何か、この4年間でじっくり考えてみませんか。

島田 剛 教授
国際経済論、途上国への援助、国内の経済格差、福島復興

- ① 国際経済論
- ② 気候変動、途上国の貧困にどう取り組むかーあるべき政策を考える
- ③ 格差が世界的にも国内でも拡大しています。どのような解決方法があるか考えていきましょう。

関口 裕昭 教授
ドイツ抒情詩、日独比較文化論

- ① 比較文学・比較文化、ドイツ語
- ② メルヒェン研究/映画と文学の比較研究
- ③ 異質なものの出会いを通して、自分の世界を広げ、深めていきましょう。

中里 裕美 教授
地域通貨研究、経済社会学、社会ネットワーク論

- ① ネットワーク社会学
- ② 社会ネットワーク<つながり>の研究
- ③ 大学生活を通して、自分が夢中になれる何かを見つけてください。

山内 勇 教授
日本企業のイノベーション活動、知的財産制度に関する実証研究

- ① 情報社会と経済、情報産業論
- ② イノベーションの経済学
- ③ 情報社会やデータエコノミーで活躍できる「人間力」を養いましょう。

熊田 聖 准教授
ビジネスにおける交渉での満足できる合意の要因は何か

- ① 意思決定論
- ② 意見の対立している分野を取り上げ、調査し、自分の考えを明確にし、それを他人に説明できるようにする
- ③ あなたのの中の理系と文系の知識を統合すると、社会の問題をじっくり考えられるようになります。

田中 洋美 准教授
ジェンダー研究、メディア研究、文化研究

- ① ジェンダー論、ジェンダーと社会
- ② メディア、テクノロジーと社会・文化分析
- ③ 枠にとらわれない思考力を鍛え、自らを自由にいきましょう。

脇本 竜太郎 准教授
防衛性の社会心理学 特に存在脅威管理理論、公正さの判断

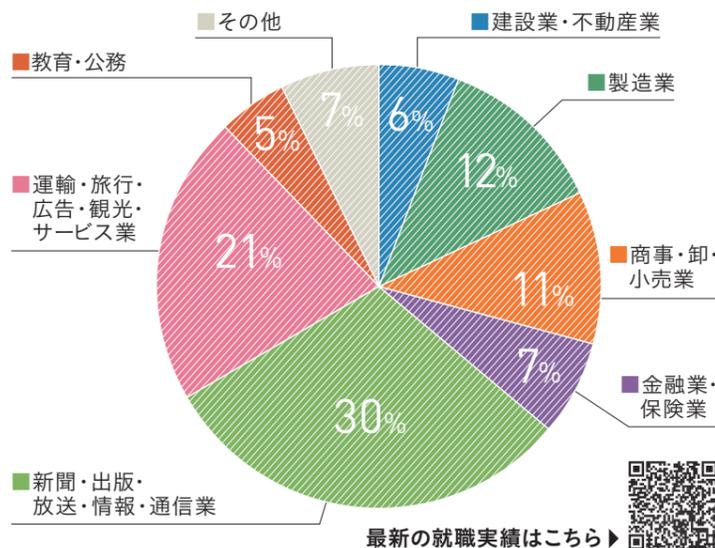
- ① 社会心理学
- ② 社会心理学:特に防衛性からの人間および社会理解
- ③ 心と社会の相互作用という視点から、人間を多面的に理解する姿勢とスキルを身につけましょう。

中川 雄大 専任講師
都市の成り立ちを歴史・物質・コミュニケーションから読み解く

- ① 都市情報論、人文地理学
- ② 都市と空間の社会学
- ③ 都市はもともと身近な社会の一つです。「今・ここ」を相対化して、社会を多角的に捉える力を一緒に養っていきましょう。

情報コミュニケーション学部の就職実績

業種別 就職状況 (2021~2023年度 卒業生)



最新の就職実績はこちら▶

主な就職先企業・団体名		
建設業・不動産業		
・野村不動産(株)	・三菱地所プロパティマネジメント(株)	・三井不動産ビルマネジメント(株)
・イオンモール(株)	・鹿島建設(株)	・戸田建設(株)
製造業		
・(株)パナソニックエレクトロニクス	・TOPPAN(株)	・ロート製薬(株)
・積水化学工業(株)	・(株)日立製作所	・(株)キーエンス
・(株)バンダイ	・アサヒ飲料(株)	・コクヨ(株)
商事・卸・小売業		
・アマゾンジャパン合同会社	・(株)ニトリ	・P&Gジャパン合同会社
・リコージャパン(株)	・サムスン電子ジャパン(株)	・丸紅エネルギー(株)
金融業・保険業		
・(株)ジェシービー	・第一生命保険(株)	・東京海上日動火災保険(株)
・三井住友信託銀行(株)	・(株)みずほフィナンシャルグループ	・りそなグループ
新聞・出版・放送・情報・通信業		
・楽天グループ(株)	・東宝(株)	・富士通Japan(株)
・(株)NTTドコモ	・日本放送協会	・(株)テレビ東京
・(株)日立システムズ	・(株)朝日新聞社	・(株)野村総合研究所
運輸・旅行・広告・観光・サービス業		
・日本航空(株)	・東日本旅客鉄道(株)	・(株)エイチ・アイ・エス
・(株)スターダストプロモーション	・(株)電通	・(株)博報堂
・(株)リクルート	・(株)マイナビ	・アクセンチュア(株)
・東京電力ホールディングス(株)	・旭化成(株)	・コカ・コーラボトランスジャパン(株)
教育・公務		
・東京都庁	・東京特別区	・埼玉県庁
・国家公務員(一般職)	・国税専門官	・(学)明治大学

(順不同)

情報コミュニケーション学部で取得できる資格

教員免許状

情報コミュニケーション学部では、指定された科目を修得すれば、次の教員免許状を取得することができます。

中学校教諭一種免許状	社会、外国語(英語)
高等学校教諭一種免許状	公民、外国語(英語)、情報

教員免許状を取得するためには、次のような科目群の単位修得が必要です。

- 学士(情報コミュニケーション学)の取得に必要な単位(つまり学部を卒業できる条件を満たすこと)
- 免許状に応じた指定科目
- 「就職に関する科目」

※詳しくは『資格課程案内』をご覧ください

学芸員、社会教育主事、司書、司書教諭

指定科目の修得により卒業と同時に取得できます。

CCNA (シスコ技術者認定資格)

CCNA (Cisco Certified Network Associate)とは、ネットワーク関連製品の最大手であるシスコシステムズ社が認定する資格で、中小規模のネットワークの構築・運営・管理が可能な能力を身につけていることを証明するものです。CCNA資格の取得のための授業としては「ネットワーク技術I~IV」が用意されています。動画や音声を活用したWeb教材が用意されていて自分のペースで学習を進めることができるようになっていきますし、授業ではネットワーク機器を使って実際にネットワークを構築し実際的な問題に対処するなどの実践的な実習も取り入れられています。

社会調査士

この資格は社会調査をすることのできる知識と技能を有していることを証明する資格です。社会調査には、マーケティング調査、コミュニティ・企業・学校などにおける意識調査など様々なものがありますが、社会科学的手法に従い多様な社会現象を理解し、諸現象の因果関係などを明確に提示するのに有効な手段です。社会調査協会に認定された科目(全部で7種類、うち一部選択)を修得して卒業すると、試験を受けることなく社会調査士の資格を得る条件を満たします。

情報コミュニケーション学部生の1日

ひとり暮らしの場合



自分の生活すべてに責任を持つからこそ実感できる成長

4年
正司 彩音
大阪府立岸和田高等学校卒業

ひとり暮らしを選んだ理由と、実際の感想を教えてください。

上京への強い憧れと、両親から離れたところで生活して自立したいという思いから、ひとり暮らしを選びました。実際に暮らしてみると家事など大変なことも多く、両親の偉大さを実感する毎日です。家事や体調管理、学業とアルバイトの両立など自分の生活すべてに責任を持つ経験は必ず自分の成長につながると思います。

普段はどのような大学生活を過ごしていますか？

週に3日大学へ行き、アルバイトは週に2日から3日ほど行っています。空きコマの時間にオンデマンド型のメディア授業を受講するなどして、時間を有効に活用しながら生活しています。授業は1限が多いため、早寝早起きは必須。サークル活動や就職活動なども本格化する中で、体調管理には何よりも気を遣っています。

ある日のスケジュール

- 6:30 起床**
まずは天気予報をチェック。朝ごはんは軽く済ませます。
- 9:00 英語コミュニケーションI**
英語でディスカッションやプレゼンテーションをします。
- 10:50 自然言語の生成モデル**
言語学における「統語論」などを中心に学びます。
- 12:30 昼食**
神保町は美味しい飲食店がたくさんあり、開拓するのが楽しいです。
- 13:30 空きコマ**
空きコマを活用してオンデマンド型のメディア授業を受講します。
- 15:20 問題分析ゼミナールI**
言語学のゼミに所属しています。グループワークが多く、活気があります。
- 18:00 アルバイト**
生活雑貨などを販売しています。接客はやりがいがあります。
- 23:00 帰宅**
買い物を済ませて帰宅。遅めの夕食を食べ、入浴します。
- 24:30 就寝**
翌日のスケジュールを確認してから就寝。



1カ月の生活費(収支)

収入	
仕送り	120,000円
アルバイト	80,000円
合計	200,000円
支出	
家賃	80,000円
食費	20,000円
光熱費	10,000円
交際費	40,000円
貯金	30,000円
趣味その他	20,000円
合計	200,000円

自宅から通学の場合



遅刻や欠席はもったいないこと授業で学びを得る姿勢は崩さない

2年
川口 大和
両国高等学校卒業

自宅から通うメリット・デメリットを教えてください。

掃除、洗濯などの家事や食事の管理など、家族のサポートと慣れ親しんだ環境は、学業をはじめとする大学の活動に専念するためには有難いもの。しかし通学時間が長いこともあり、自由な時間に制約があることも事実で、自己管理能力や責任感といった自立心は意識しないと芽生えにくいと思います。

普段はどのような大学生活を過ごしていますか？

大学に通う最大の目的は、自分の興味関心の幅を広げてそれらを深めること。授業によっては課題が多く大変に感じることもありますが、遅刻や欠席をせず、必ず出席して、何かしらの学びを得るといふ姿勢は常に崩さないように日々心がけています。

ある日のスケジュール

- 6:15 起床**
テレビでニュースや天気予報を見ながら朝ご飯を食べます。
- 7:30 勉強**
朝の学習は小学生からの習慣です。朝は集中力が続きやすいのでおすすめ。
- 9:30 登校**
通学中は好きな音楽を聴いて気分を上げます。テスト前は勉強に充てます。
- 10:50 Critical Discussion**
ある社会問題のトピックについて英語でのDiscussionを通じて理解を深めます。
- 12:30 昼食**
友達と談笑する時間。進路や将来のことを話すことも多いです。
- 13:30 マクロ経済学**
社会における様々な経済現象をマクロな視点から分析します。
- 16:50 アルバイト**
学習塾で集団の授業。小学6年生に文系科目、中学3年生に数学を教えます。
- 22:15 帰宅**
遅めの夕食を食べ、入浴します。
- 23:45 就寝**
翌日の準備を済ませてから就寝。

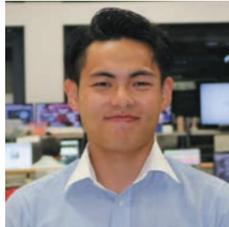


1カ月の生活費(収支)

収入	
仕送り(昼食代・交通費)	10,000円
アルバイト	90,000円
合計	100,000円
支出	
食費	10,000円
交際費	35,000円
貯金	35,000円
衣類・趣味等	20,000円
合計	100,000円

各分野で活躍している卒業生たち

放送局



株式会社福岡放送 勤務
山本 康聖さん
福岡県立修猷館高等学校卒業
2019年4月、株式会社福岡放送に入社。
報道部所属

情コミで参加した実践的なプログラムがテレビ業界を志すきっかけに

卒業後は地元に戻り福岡のテレビ局へ入社。1年目から記者として事件や事故を中心に取材をしてきました。2年目で転勤した北九州支局では、保育園送迎バスでの置き去り事故や旦過市場における2度の火災など、全国に放送されるニュースの現場で、関係者や被災者の声を集めました。また、日々のニュースの取材と並行して水害や戦争など自分の興味のある分野について長期取材を実施。ドキュメンタリー番組として、放送するチャンスも得ました。2022年10月からは、朝の情報番組のディレクターとして生番組の制作を担当しています。

学生時代には、「国際交流(メディア)」に参加。

ネタ探しから海外ロケ、台本の作成やスタジオでの収録など実際の番組づくりに近いプログラムを体験しました。現場でしか分からないことを多くの人に伝える楽しさを実感し、テレビ業界を志す大きな契機となりました。情コミは、目標が決まっていなかった人はそれを見つけ確かなものにする、目標が決まっている人は学びを積み重ね自分を磨くことができる場所だと感じます。

私の信念は、「明日、誰かが泣かないための報道をする」こと。今後も、より視聴者に伝わりやすくなるための工夫や深く知ってもらうための番組作り挑戦し続けたいです。

メーカー



パナソニック エナジー株式会社 勤務
小野 緋里さん
東京都立東京女子館高等学校卒業
2020年4月、パナソニック株式会社に入社。
経理センター 事業管理部所属

様々な文化・人・考え方に触れた経験が価値観を大きく変えました

私は現在、乾電池や車載電池を扱う会社で、経理の仕事をしています。全社の収支、財務管理を総括し、経理面から事業の課題、対策を提言することで、事業活動のサポートをするのが私の組織のミッションです。私たちの商材は皆様の日々の暮らしや社会インフラを支えているため、世の中の役に立っていることを実感でき、大きなやりがいとなっています。

情コミで印象に残っているのは学部間協定校への留学。人との付き合い方、自分のあり方、ものの見方など、価値観を大きく変えてくれた経験です。

様々な文化・人・考え方に触れ、多角的な視点を得ることができ、性格もよりアクティブかつオープンになりました。この留学は私の人生のターニングポイントであり、仕事においても非常に役立っています。

入学時は将来やりたいことが定まっていなくても、卒業する頃には自分に合った、自分がやりたいことが見つかるはず。思わぬ新しい自分を発見できるかもしれません。情報コミュニケーション学部に入社して、ぜひ様々な新しいことに挑戦してみてください。

広告



株式会社博報堂 勤務
竹島 絵奈さん
静岡県立藤枝東高等学校卒業
2015年4月、株式会社博報堂に入社。
プラットフォーム戦略局所属

自分が将来やりたいことを4年かけて見つけ出すことができる場所

プラットフォームが持っている持ち物(データ・面・Solution等)をマーケット課題解決力で最大化し新しい価値を生み出す仕事をしています。入社してから一貫してメディアの仕事をしているため、大学時代に得た学びはあらゆる場面で生きています。情報コミュニケーション学部の強みは「自由」なところ。特に印象に残っているのは、ゼミ活動の中で自身が興味のある「メディア」をあらゆる角度で研究しつくしたこと。時間を潤沢に使い、学びに対しての貪欲さを最大限に発揮して、知りたいことをとことん追求する経験は大学時代ならではの貴重なものだったと感じます。メディアやコミュニケーションは、時

代の流れや市況によって刻一刻と変化するもの。情コミで身につけた常にアンテナを高く張り、情報を逃さず捉える姿勢は、今の業務に役立っています。

志望大学や学部を決める過程で「将来やりたいことが分からない」と悩んでいる方は多いのではないのでしょうか。実際に私も高校生の時はそうでした。そういう人にこそ、情報コミュニケーション学部は合っていると思います。学べる範囲がとても広く、そこから自分の好きなものを探すことができます。大学の進路を決めるということは、人生で一度きりの大きな選択だと思うので、悔いが残らないように徹底的に考え抜いてみてください。応援しています！

金融



株式会社日本政策金融公庫 勤務
藤田 耶真さん
東京都立工学院大学附属高等学校卒業
2022年4月、株式会社日本政策金融公庫に入社。
中小企業事業融資課所属

多様な情報とコミュニケーションする力が、業務に活かされています

私は現在、中小企業を対象として融資をご提案する業務を担当しています。公的な政策金融機関として、相手が真に求めておられるサポートに取り組むことがやりがいです。

情コミで特に印象に残っているのは、入学直後に受講した基礎ゼミでの学びです。ここでは、文献などから出てくる数多くの情報の中から重視する情報を見極め、それらを統合して解釈する力が養われました。学問の基礎よりも先に、学問に触れるための土台として「情報の取り扱い方」を学べたことは、私の原点となりました。

この学びは仕事でも発揮されています。業務におい

ては金融という仕事柄、取引先の事業や資金繰りに問題がないかを常に見定める必要があります。提示された情報の中で相手の状態を正しく判断する際に、基礎ゼミで修得した情報を読み解くスキルが発揮されています。現在の目標はとにかく一人前の職員になること。相手から信頼され、任せてもらえる職員になるため、知識・経験ともに積み重ねていきたいです。

情コミは、とにかく自由な学部。自分の可能性を信じて扉を叩けば、応えてくれる環境が整っています。ぜひ、ここで多様な学びを得て、思い描いた未来へ進んでください。

サービス



株式会社オリエンタルランド 勤務
上村 悠馬さん
東京都立明治大学付属中野高等学校卒業
2018年4月、株式会社オリエンタルランドに入社。
経営戦略本部 リゾート開発部 リサーチ&アナリシスグループ所属

多分野の学びの中で見つけた「好き」が、今の仕事につながっています

入社して3年間はテーマパークの飲食施設で時間帯責任者として従事、その後2年間はバイヤーとして食材の買い付けや在庫管理を行っていました。現在の部署に配属されてからは、お客様により良い体験・サービスを提供するための調査や分析を担当。たくさんのお客様の笑顔が仕事に励む活力となっています。

情報コミュニケーション学部は、「自分が本当に好きなこと、やりたいことは何か」を知ることができる場だと思います。4年間で幅広い分野や考え方に触れていくうちに、今よりもっと興味のあることが見つかるかもしれませんし、様々な分野に触れた上でも揺るがない確信を伴った「好き」に気づけるかもしれません。

私自身、高校生の時は現職とは異なる業界に興味を持っていましたが、大学生活の中で自分の好きなことの本質に気づき、履修する授業分野も変わっていききました。基礎ゼミや授業で行ったプレゼンテーションやディスカッションを通じて磨かれた相手の考えを知るための傾聴力や、意見の異なる相手と合意形成をはかる上での論理的思考力は、業務で社内外の様々な方と協働する上で非常に役立っています。今後さらにスキルアップし、調査・分析を通して全社的なパフォーマンス向上に寄与していくとともに、様々な志を持って働く同僚のチャレンジも後押しできる存在になりたいです。

教員



山梨県立富士河口湖高等学校 勤務
保坂 俊希さん
山梨県立韮崎高等学校卒業
2022年4月、山梨県立公立高校に入職。
教諭として勤務

ゼミで学んだ「固定観念に縛られない」考え方が教育に生きています

担当教科は公民科。1学年の担任や生徒会指導部として勤務しています。野球部の指導に明け暮れ、真っ黒に日焼けしながら、生徒たちのまっすぐな思いと日々向き合っています。生徒からのエネルギーが何よりの活力だと実感しています。

情コミでは幅広い分野について学びました。今でも印象に残っているのは1年次に履修した「哲学」や2年次に履修した「政治学」。正解のない問いに対し、自分と異なる意見も受け入れ、様々な考えを参照しながら思考する力が身につきました。また、1年次から基礎ゼミに参加し行動経済学を学べたのは、とても良かったです。

ゼミで触れたクリティカルシンキングは現在の仕事でも生きています。教育には様々な予期せぬことがつきものです。その際、固定観念に縛られないことは特に重要で、常識にとらわれず、生徒にとって何が最適か考えることは教育の醍醐味だと思います。

情コミには他学部よりも多種多様な目標を持つ学生が集まり、様々な知見を得られます。情報コミュニケーション学部って何をやるの？と思うかもしれませんが、それは自分自身が決めることです。自ら学び、自らの人生を深いものにする。そんな経験ができるのはこの学部こそだと思います。

ジェンダーセンターの活動

2004年に開設された情報コミュニケーション学部は、明治大学的女子教育を担ってきた戦前の専門部女子部、戦後の短期大学の伝統を引き継いで、当初よりジェンダー研究の推進を、学部の理念のひとつとして掲げてきました。社会的、文化的に形成された性をめぐるイメージや役割である「ジェンダー」の問題を中心に、さらに多様な生き方を実現する社会の理想としての「ダイバーシティ」と、私たちの「私らしさ」を築き上げるために重要な要素である「社会的承認」を手がかりに、公正な社会実現のための双方向コミュニケーションのあり方を追求することは、情報コミュニケーション学の重要な課題のひとつです。2010年4月にジェンダーセンターが設置されて以降、国内外と連携してシンポジウム・特別講演会・学生向けイベント等を実施しています。



- ジェンダーセンターの活動実績**
- **シンポジウム** 「違和感」から始まるジェンダー表現—アートディレクター、メディア制作、身体パフォーマンスをとおして
 - **資料映像上映会+トークイベント** 女性法曹界の道を拓いた人々—明治大学専門部女子部の足跡
 - **特別講義** 「企業トップの考えるダイバーシティ・マネジメント」

入試情報

学部別入学試験

学科(募集人数)	出願期間	入学試験日	合格発表日時	入学手続締切日
347名	1月6日(火)～1月22日(木) ※ 締切日消印有効	2月8日(日)	2月15日(日)9:30	3月5日(木) ※ 締切日消印有効

入学試験時間割・配点			試験科目
1時限	2時限	3時限	
10:00～11:00 (60分)	12:00～13:00 (60分)	14:20～15:20 (60分)	外国語 …… 『英語』(英語コミュニケーションI～III、論理・表現I～III) 国語 …… 『国語』(現代の国語、言語文化) ※漢文を除く 地理歴史、公民 …… 『歴史総合、世界史探究』、『歴史総合、日本史探究』 数学 …… 『公共、政治・経済』、『数学』(数学I～II、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)から1科目選択
外国語(配点100点)	国語(配点100点)	地理歴史、公民、数学(配点100点)	

全学部統一入学試験

学科(募集人数)	出願期間	入学試験日	合格発表日時	入学手続締切日	試験会場
25名	1月6日(火)～1月16日(金) ※ 締切日消印有効	2月5日(木)	2月15日(日)9:30	3月5日(木) ※ 締切日消印有効	東京(本学キャンパス)、 神奈川(本学キャンパス)、 札幌、仙台、名古屋、大阪、 広島、福岡

利用する「全学部統一入学試験」の教科・科目・配点等			
教科	時限	科目	配点
外国語	1時限 9:30～10:30 (60分)	『英語』(英語コミュニケーションI～III、論理・表現I～III)、『ドイツ語』、『フランス語』から1科目選択	150点
● 下記の5教科9科目のうちから2科目を選択。3科目を受験した場合には、高得点の科目を合否判定に利用する。			
国語	2時限 11:30～12:30 (60分)	『国語』(現代の国語、言語文化) ※漢文を除く	200点(100点×2)
地理歴史・公民・理科	3時限 13:50～14:50 (60分)	『歴史総合、世界史探究』、『歴史総合、日本史探究』、『地理総合、地理探究』、『公共、政治・経済』、『物理』(物理基礎、物理)、『化学』(化学基礎、化学)、『生物』(生物基礎、生物)	
数学	4時限 15:50～16:50 (60分)	『数学』(数学I～II、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)	
合計(3科目)			350点

大学入学共通テスト利用入学試験(3科目方式)

入学試験日は、「令和8年度大学入学共通テスト受験案内」を参照してください。

学科(募集人数)	出願期間	試験日	合格発表日時	入学手続締切日
30名	1月6日(火)～1月16日(金) ※ 締切日消印有効	1月17日(土)・1月18日(日)	2月15日(日)9:30	3月5日(木) ※ 締切日消印有効

利用する「大学入学共通テスト」の教科・科目・配点等		
教科	科目	配点
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目 『英語』は、リーディング100点、リスニング100点とする。	200点
● 下記の科目のうちから1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。		
国語	『国語』	200点
数学	『数学I、数学A』、『数学II、数学B、数学C』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	
● 下記の科目のうちから1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。 『地理歴史』『公民』および『理科』は、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。		
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	200点
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	
情報	『情報I』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	600点
合計(3科目)		

大学入学共通テスト利用入学試験(6科目方式)

入学試験日は、「令和8年度大学入学共通テスト受験案内」を参照してください。

学科(募集人数)	出願期間	試験日	合格発表日時	入学手続締切日
10名	1月6日(火)～1月16日(金) ※ 締切日消印有効	1月17日(土)・1月18日(日)	2月15日(日)9:30	3月5日(木) ※ 締切日消印有効

利用する「大学入学共通テスト」の教科・科目・配点等		
教科	科目	配点
国語	『国語』	200点
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目 『英語』は、リーディング100点、リスニング100点とする。	200点
数学	『数学I、数学A』	100点
	『数学II、数学B、数学C』	100点
● 下記の科目のうちから2科目を選択。3科目以上を受験した場合には、高得点の2科目の成績を合否判定に利用する。 同一教科内について、2科目の利用も可。『地理歴史』『公民』および『理科』は、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。		
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』	200点 (100点×2)
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』	
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	
情報	『情報I』	800点
合計(6科目)		

特別入学試験

● 付属校推薦入試(65名)	● 指定校推薦入試(15名)	詳細は、情報コミュニケーション学部事務室 (TEL.03-3296-4262～64)までお問い合わせください。
● スポーツ特別入試(8名)	● 外国人留学生入試(20名)	

明治大学情報コミュニケーション学部がわかる **9**つのポイント

情報コミュニケーション学って？

自ら問いを立てる



学際性と多様性

学科・科目

1学科 800 授業から選択



マイカリキュラム

国際・留学

世界を身近に



**誰でも挑戦できる
国際交流**

創造と表現

映像・アート・音楽・ダンスなど



**あらゆる表現
を支援**

ゼミナール

専門分野を少人数で



1年生から

語学

言語背景も学ぶ



多彩な語学教育

研究交流祭

ゼミの成果を発表



**学年を超えた
交流**

教員紹介

成長をサポート



**多分野で活躍する
教員たち**

キャリア教育・進路

幅広い就職先



**4人に1人が
マスコミ・通信業界へ**

詳しくはこちらを **CHECK!**

受験生のための学部選択ガイド Step into Meiji University

<https://www.meiji.ac.jp/stepinto/infocom>



LINE @meijjexam

一人ひとりにぴったりの入試やイベントの情報を
お知らせ。LINEだけのイベントもやってるよ!!



登録してくれた？

● 明治大学入試総合サイト

<https://www.meiji.ac.jp/exam/>

